

# 令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第19回）

日時：令和8年7月2日（木）11：10～

場所：防災センター201 会議室

## 次 第

1 開 会

2 本部長（知事）挨拶

3 議 事

（1）創造的復興の進捗状況について

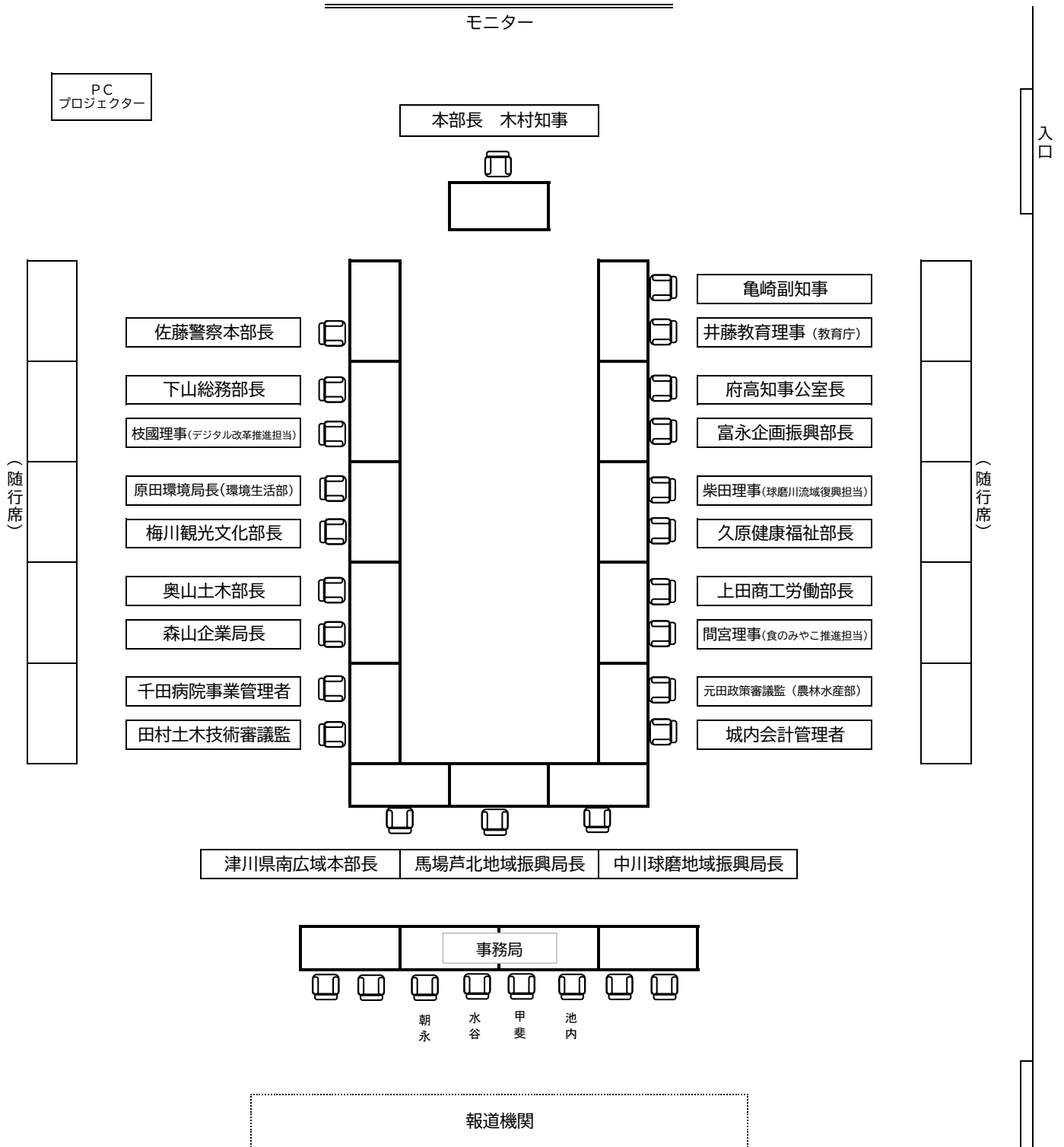
（2）球磨川流域地域連携推進事業について

4 閉 会

# 令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第19回） 席次表

日時：令和8年7月2日（木） 11:10～

場所：防災センター 201会議室



# 「『緑の流域治水』の推進による1日も早い安全・安心の実現」に向けた取組み

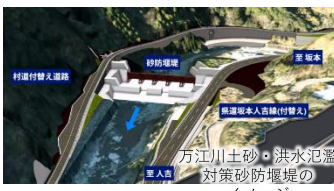
資料1-1

## 「緑の流域治水」の推進



### 「流域治水プロジェクト」「河川整備計画」の推進・情報発信

	進捗率 (R8.6末見込み)	完了見込
県管理河川施設の復旧	<b>99.2%</b> 391/394箇所完了	<b>R8年度中</b>
砂防施設の復旧・整備	<b>97.1%</b> 269/277箇所完了	<b>R10年度中</b>
治山施設の復旧・整備	<b>80.1%</b> 137/171箇所完了	<b>R9年度末</b>



**進捗**  
 新たな流水型ダム **R9年度**ダム本体基礎掘削工事着手、**R17年度**の完成を目標に整備推進。  
 川辺川の県管理区間の河川整備 **R17年度**の流水型ダム完成までを目指し、集中的に取り組む。



## 防災・減災力の強化

球磨川リバーミュージアム構想  
 地域連携・防災力強化・環境教育のフィールドを創造。  
 球磨川リバーミュージアムキックオフフォーラム (R8.3.1)



## 災害に強い社会インフラ整備

### 国道219号等、球磨川に架かる橋梁の早期復旧

	進捗率 (R8.6末見込み)	完了見込
国道219号等の復旧	本復旧工事推進中 ※一部区間でかさ上げ工事推進中	
県南地域の道路復旧	<b>98.9%</b> 928/938箇所完了	<b>早期完了</b> に向け推進
橋梁の復旧	<b>50%</b> 5/10橋完成 ※残る5橋も全て上部工の工事に着手済み	



### くま川鉄道・JR肥薩線の早期復旧

**進捗**  
 くま川鉄道 **R8年度上半期の全線運行再開**に向けて、災害復旧事業を実施。  
 JR肥薩線 八代～人吉間の鉄道での復旧に向けて、災害復旧事業を支援。R8年3月にはJR九州の「肥薩線復旧工事所」が設置された。

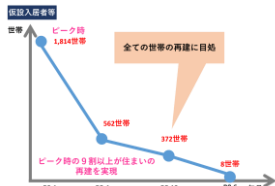


## すまい・コミュニティの創造

### 安全・安心な住まいの確保となりわいの再建

	進捗率 (R8.6末見込み)	完了見込
応急仮設住宅等入居者数	<b>99.5%</b> 8世帯16人 (1,806/1,814世帯完了)	最後のお一人まで寄り添った支援を継続
輪中堤・宅地かさ上げ	<b>33.3%</b> 12/36箇所完了 (R8.5末時点) ※残る24箇所も全て着手済み	<b>早期完了</b> に向け実施
なりわい再建支援補助金による施設・設備の復旧	<b>98.4%</b> 完了504件/交付決定512件	<b>早期完了</b> に向け実施
農地・農業用施設の復旧	<b>98.0%</b> 833/850箇所完了	<b>R10年度末</b>
林道の復旧	<b>84.2%</b> 396/470箇所完了	<b>R10年度末</b>

※災害公営住宅等整備は**R7年12月完了**(全12地区282戸)



### ふるさとの魅力あふれるまちづくりとコミュニティの形成

八代市坂本町  
 ・坂本支所⇒**R7年度完成**  
 ・道の駅坂本⇒**R9年**供用開始見込み  
 球磨村渡地区  
 渡小学校跡地を活用した賑わいづくり  
 相良村廻地区  
 川辺川の魅力を活かした交流拠点づくり  
 人吉市青井地区  
 ・人吉市青井地区・紺屋町地区画整理事業⇒**R10年度末**完了見込み  
 ・国道445号改築事業⇒**R13年度末**完了見込み  
 ※みんなの家(公民館型)は**R8年3月全9棟完成**



- ・「産業振興」では、県南地域への企業誘致促進をはじめ、**産業活性化や雇用の創出を促進**。
- ・「人づくり」では、広域的な課題解決に取り組む**広域連携体制の構築・強化など、地域が抱える共通課題にしっかり対応**。
- ・地域と共に「産業振興」と「人づくり」に向けた取り組みを重点的に推進し、「人口定着」に向けた**好循環の創出・加速化**を目指す。

## 産業振興 地域の産業活性化、雇用の創出

### ◆豪雨被災地域への観光誘客

- ・R8夏開催の「熊本デスティネーションキャンペーン（熊本DC）」等による、豪雨被災地域をはじめとした県内全域への誘客促進

熊本DCガイドブック



### ◆球磨川と鉄道の2つのラインを活かした県南地域ならではの観光振興モデルの創出

- ・「球磨川リバーミュージアム構想」を旗印とした球磨川流域ならではの「**防災×観光復興**」の取り組み発信
- ・くま川鉄道やアニメ「夏目友人帳」等**地域ゆかりのコンテンツを活用**した誘客・周遊促進



### ◆八代に新たな県営工業団地の整備

- ・**県南地域にも**企業進出の受け皿となる**工業団地を整備**（R10年度分譲開始予定）
- ・八代地域のポテンシャルを活かした食品関連企業、半導体関連企業など、地元の雇用確保や地域の活力につながる企業を積極的に誘致し、**その効果を県南全域にも波及**



八代市に整備予定の県営工業団地イメージ

### ◆県南地域への企業誘致促進

- ・企業の現地視察費の一部支援や、既立地企業に対する人材確保支援（**高校生を対象とした企業見学ツアー**の実施等）
- ・市町村からの提案を踏まえた、展示会への出展やサテライトオフィスを活用した企業研修の誘致による、**IT・コンテンツ系企業の誘致促進**



工場見学ツアー

### 【好事例】

- ・湯前町では、人材交流や地域活性化を目的に、R8年4月、湯前駅近くにサテライトオフィスを開所。既に3社の誘致が決定。



IT関連企業の現地視察（R7.3.3 相良村）

## 人づくり 人材育成、関係人口の創出・拡大

### ◆人吉・球磨地域の広域的な課題解決・人づくりに向けた取り組み

- ・人吉・球磨地域に、**県による地域おこし協力隊**を5名配置(R7～)
- ・人材確保、産業・観光振興などの広域的な課題解決に取り組む、**地域の核となる人材育成**の仕組みづくり

管内地域おこし協力隊交流会（R8.2）



地域の人事部ワークショップ

### ◆「地域の人事部」の構築

- ・人吉・球磨地域の維持・発展に向け、**商工団体、市町村、中間支援組織等が一体となって人材の確保・育成・若者の地元定着**を支援する仕組み構築



### ◆くまもと林業大学校県南校の機能拡充

- ・「**選ばれる林業大学校**」を目指し、魅力向上、より多くの人材確保・育成を目的に「基本構想」を策定(R8年3月)
- ※R8年度は過去最高の**11人が県南校に入校**。うち6人は五木村へ転居。

くまもと林業大学校の架線集材研修



### ◆若者が魅力を感じる学びの場創出

- ・**人吉高校五木分校等、県立高校の魅力化**や教育活動における実践的な学びの充実、質の高い教育による**グローバル人材の育成**の推進

東大先端研との連携による五木分校の探究学習



### ◆森林サービス産業の展開等を通じた関係人口創出

- ・森林空間を健康、観光、教育等多様な分野で活用する「**森林サービス産業**」の**地域全体における展開**
- ・森林環境教育を通じた都市農村交流による**関係人口創出**

## 人口定着 定住志向の向上、域外からの人材流入

# 令和2年7月豪雨からの 復旧と創造的復興に向けた取組み

令和8年(2026年)7月2日

熊 本 県



## ■「緑の流域治水」の推進

- 流水型ダムの進捗状況（国による検討内容） ……7
- 流水型ダムの進捗状況（仕組み） ……8
- 堆積土砂の撤去など河川の緊急対策（国管理区間） ……9
- 球磨川における輪中堤・宅地かさ上げの進捗状況 ……10
- 遊水地（国管理区間）の整備 ……11
- 五木村の振興 ……12
- 相良村の振興 ……13
- 「緑の流域治水」の取り組み等の見える化 ……14
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み ……15
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み ……16
- （中園川（球磨村）、井口川（あさぎり町））
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み ……17
- （川辺川・梶原川（五木村））
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み ……18
- （川辺川（相良村））
- 万江川流域の土砂・洪水氾濫対策 ……19
- 森林整備、治山対策等による緑の流域治水の推進 ……20
- “いのち”を守る防災・減災力の強化 ……21
- 球磨川リバーミュージアム構想の推進に向けた取り組み ……22

## ■すまい・コミュニティの創造

- 住まいの再建の実現と医療・福祉サービス提供体制の確保 ……25
- 被災事業者の事業再建支援 ……26
- 人吉市におけるまちなか全体の活性化に繋がる復興まちづくりの推進 ……27
- ①青井地区における復興まちづくりの推進 ……28
- ②中心市街地地区における復興まちづくりの推進 ……29
- ③中川原公園における災害復旧の実施 ……30
- アトリス事業を活用した「川辺川魅力創造事業」の取り組み ……31
- 復興まち・むらづくりの進捗状況について（八代市坂本町） ……32
- 復興まち・むらづくりの進捗状況について（球磨村） ……33
- 「八代警察署坂本駐在所」再建 ……35

## ■災害に強い社会インフラ整備

- 国道219号等の早期復旧に向けた取り組み ……39
- 国道219号等の早期復旧に向けた取り組み（道路） ……40
- 国道219号等の早期復旧に向けた取り組み（橋梁①） ……41
- 国道219号等の早期復旧に向けた取り組み（橋梁②） ……42
- くま川鉄道復旧の取り組み ……43
- JR肥薩線復旧の取り組み ……44

## ■観光を軸とした創造的復興の実現

- 豪雨被災地域への観光誘客 ……47
- 球磨川流域独自のコンテンツや地域資源を活かした誘客への取り組み ……48
- 球磨焼酎の魅力発信及び販路拡大 ……49

## ■地域の特色を活かした産業活性化と雇用の創出

- くまもと林業大学校県南校の機能拡充と持続的な林業振興の促進 ……53
- 森林ビジネス産業の展開と森林環境教育を通じた関係人口創出 ……54
- 県南フードパレ構想の推進及び企業の農業参入促進 ……55
- 新規県営工業団地（八代市事業区）の整備 ……56
- 県南地域への企業誘致促進 ……57
- 人吉・球磨地域の広域的な課題解決・人づくりに向けた取り組み ……58

## ■若者が定着・還流する環境の創造

- 「若者が定着・還流する環境の創造」に向けた取り組み ……61
- 地元企業等と連携した奨学金の返還サポート ……62
- 事業承継等の支援による地域経済と雇用の維持・発展 ……63
- 若者の地元定着促進 ……64
- 若年層のUターン等の促進 ……65

## ■新時代共創復興プランの実現に向けて

- 復興基金を活用した市町村支援 ……69





◆ 「緑の流域治水」の推進



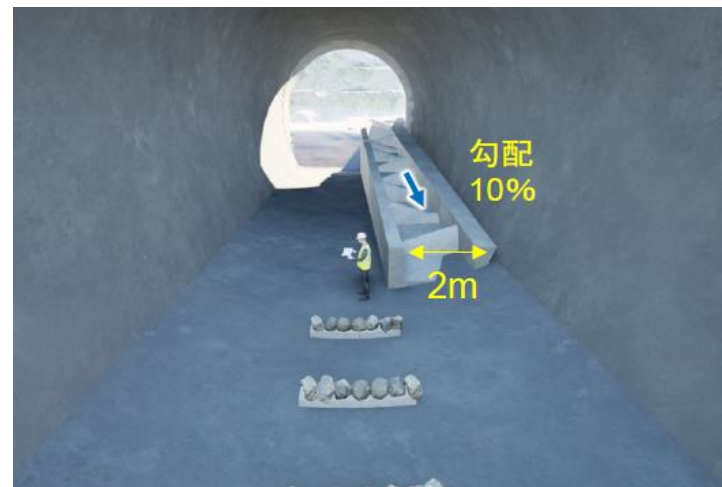
# 流水型ダムの進捗状況(国による検討内容)

- 流水型ダムは、令和9年度の本体工事着工、令和17年度の完成が目標。令和8年4月には、国において本体工事の着手に向けた必要な予算が確保され、発注見通しも公表された。
- 国は、令和3年から行ってきた法と同等の環境アセスメントの最終報告書となる「環境影響評価レポート」【補正後】を、令和6年10月11日に公表。11月11日まで縦覧が行われ、手続きは全て完了。現在は、環境影響評価レポートを継承し、「川辺川の流水型ダムに係る環境保全対策アドバイザー会議」において、更なる環境影響の最小化や環境再生・創出に向けて取り組まれている。
- 今年度は、ダム本体基礎掘削工事に向けた一連の準備や仮排水路トンネルへの魚道の設置を予定。

〔流水型ダムの整備スケジュール〕

令和8年2月時点	R6	R7	R8	R9	R17
環境保全措置	評価レポート作成・公表	★ R7.3.25 流水型ダムアドバイザー会議設置 ★ R7.6.13 第1回流水型ダムアドバイザー会議 ★ R8.2.20 第2回流水型ダムアドバイザー会議	環境保全措置の具体化/現場実装 動植物のモニタリング		
ダム本体工事等	設計(模型実験等) 本体施工方法等検討	転流工魚道設置準備	ダム本体基礎掘削工事開始	堤体打設	試験湛水
生活再建工事		★ R6.11着手 付替村道(未施工区間の整備) ★ R7.2着手 平場造成(協議が整った箇所から順次整備)			
斜面安定対策	地質調査	対策工設計、施工方法等検討	地質調査の結果、地すべり発生の可能性がある箇所において、順次対策を実施		
発電補償	発電事業者との協議を踏まえ、補償を実施				

〔仮排水路トンネル内の魚道設計イメージ〕



川辺川ダム砂防事務所HP「流水型ダムに関して理解を深めて頂くための取り組み」(超大型水理模型の実験の様子・仮想空間でダムを再現したイメージ動画等)はこちら

- 県では、令和7年12月20日に「**新たな流水型ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み**」第4回会議を開催。
- 会議では、国から、流水型ダムの**スケジュール**や**環境保全措置の具体的な取組み等**を説明。また、過去の会議で構成員から御意見が多かった**森林の整備・保全等**について、**農林水産部から説明**を行い、構成員と意見交換を実施。
- 会議内容は後日、**新聞広告**により広く県民に周知。

第4回会議の様子



環境保全措置のための動植物の移植検討やモニタリングの状況



寺崎先生(陸上昆虫類専門)との合同現地調査(R7.9.16)



コウモリ調査

「緑の流域治水」に資する多様で豊かな森林づくり  
(農林水産部 説明資料)



■架線系(タワーヤード)集材



■治山ダム設置状況

新聞広告

(R8/2/21熊日(見開き)・人吉新聞(折込))



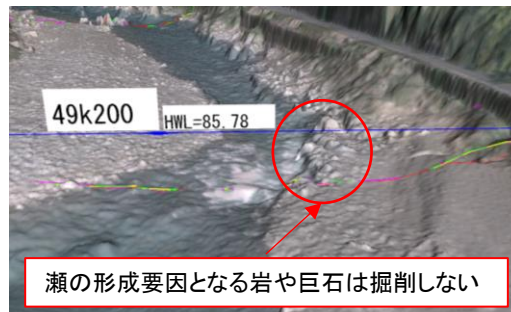
# 堆積土砂の撤去など河川の緊急対策(国管理区間)

- 令和2年7月豪雨以降、球磨川河道内の掘削を行っており、令和8年5月末現在で約271万m<sup>3</sup>を撤去。(※)
- 今後も、球磨川河道内の掘削を継続して行っていく。

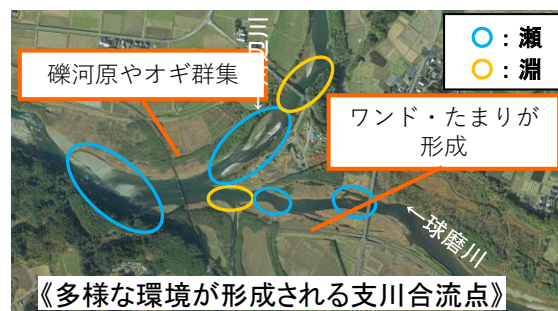
(※)令和2年7月豪雨で堆積した土砂(推定)約125万m<sup>3</sup>は、令和4年1月末に掘削完了。更に令和8年5月末までに約146万m<sup>3</sup>を掘削(進捗率:約30%、流域治水プロジェクト:約146万m<sup>3</sup>/計画:約480万m<sup>3</sup>)



## ■河川環境(瀬・淵等)、河川景観(巨石、奇岩等)の保全



## ■河川環境の保全(支川合流部環境の保全)



球磨川上流部の支川合流点の環境を保全するため、可能な限りオギ群落、ワンド・たまり等の掘削を回避。



## 【河道掘削】



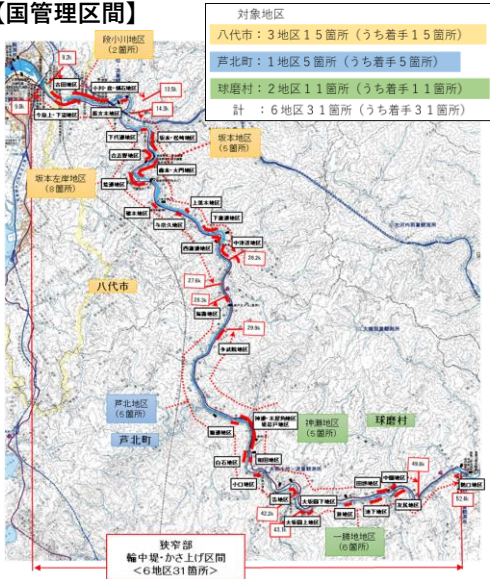
## 【河道拡幅】



# 球磨川における輪中堤・宅地かさ上げの進捗状況

- 県及び関係市町村と連携を図った上で、対象となる各地区で事業説明会等を令和3年3月から順次開催(3市町村計374回開催※令和8年5月末現在)。
- 事業説明会にて施工計画やスケジュール、宅地かさ上げ事業に係る補償を説明。
- 八代市、芦北町、球磨村において**国で施工中の全31箇所で、輪中堤・宅地かさ上げ工事に着手し、うち10箇所で工事完了**。(令和8年5月末現在)
- 八代市、芦北町、球磨村において**県で施工中の宅地かさ上げ工事全5箇所のうち2箇所で工事完了**。(令和8年5月末現在)

## 【国管理区間】



## 【県管理区間】



- 遊水地の整備について説明会等を実施し、住民との協議のうえ、相良村柳瀬地区で令和5年8月、球磨村渡地区で令和6年8月、**人吉市中神地区で令和7年9月に着工。**
- また、**関係市村、国及び県で連携し、平常時の利活用についても検討が進められている。**

## 工事の進捗状況

- 人吉市中神地区 R7.9着工式開催、施工中
- 人吉市大柿地区 R6.6住民説明会開催
- 球磨村渡地区 R6.8着工式開催、施工中
- 相良村柳瀬地区 R5.8着工式開催、施工中

相良村柳瀬地区



球磨村渡地区



人吉市中神地区



※R8.3末時点での各地区施工状況（八代河川国道事務所HPより）

## 平常時利活用の検討

### ◆「遊水地利活用に向けた実務者会議」による連携した検討

- R6.5 上記遊水地の利活用について **情報共有を図るため、国、県及び関係市村（人吉市、球磨村、相良村）で会議を実施。**
- R7.2 会議構成員で麻機遊水地（静岡県）を視察。  
※以後も定期的に実務者会議を実施。

### ◆各地域での利活用検討

- 人吉市中神地区
  - 住民ワークショップ開催（R6.2）
- 球磨村渡地区
  - 村長及び村議会議員先進地視察（R6.12）  
坪井川遊水地（熊本市）及び白銀川調節池（福岡県大牟田市）を視察。
- 相良村柳瀬地区
  - 村で利活用のイメージ図を作成。



# 五木村の振興

## “ひかり輝く” 新たな五木村振興計画の一部改訂等に関する確認式 (R6. 7. 16)

※村長、村議会議長／知事／九州地方整備局長 の三者で計画確定を確認



## 五木村の振興を確認する場 (R8. 3. 26)

※村長、村議会議長／知事／九州地方整備局長の三者で次年度実施計画を毎年確認

### 誰もが安全・安心に住み続けられ、若者が集まる「“ひかり輝く” 新たな五木村」の実現を目指して

振興計画に位置付けられた主な取組み

#### 少人数教育を生かした人材の育成・子育て環境充実の取組み



義務教育学校「五木学園」の開校



東京大学と連携した人吉高校五木分校の魅力化

#### ～教育連携の取組み～

いつき保育園、五木学園、人吉高校五木分校、くまもと林業大学校、五木村の5者による教育包括連携協定の締結



五木村の活性化及び人財育成に向けた教育包括連携協定締結式

#### くまもと林業大学校を核とした地域活性化策の取組み



五木分校の収穫祭への林大生の参加



村内林業事業者と林大生の交流

#### 新たな平場整備の取組み



頭地・高野地区の全体平場検討(最大20ha)



小学校前平場

#### 道路ネットワークの強靱化・リダンダンシーの確保の取組み



道路改良工事(橋工区)



道路改良工事(九折瀬工区)

橋梁下部工完了

#### 命・財産を守る気候変動に対応した流域治水の推進

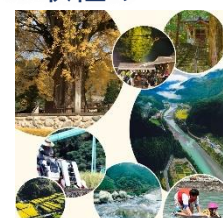


※整備イメージであり変更となる可能性があります

#### 住民主体のまちづくりの取組み



「五木村東地区むらづくりグランドデザイン」に基づいた取組みの推進



五木村宮園周辺地域ふるさとづくり計画

宮園周辺地域振興協議会 ※「地域振興策」をもとに取組みを実施

## 相良村振興推進本部会議を開催 (R8. 2. 19)

※相良村振興策に掲げる県の令和7年度取組みの進捗状況及び令和8年度取組みを確認



## 相良村振興策に対する県のR8取組みを村長・村議会へ説明 (R8. 4. 23)

### 緑の流域治水と村振興策の着実な推進

#### 主な取組み

##### 川辺川の河川整備



護岸工事・施工状況(平川地区)

遊水機能を有する土地  
施工状況(黒石地区)

##### 川辺川魅力創造事業



護岸工事 施工状況

交流拠点施設 完成イメージ  
※年度内に一部供用開始予定

##### 農地基盤整備 (並木野~井沢地区)



整備検討範囲

##### 国道445号の整備

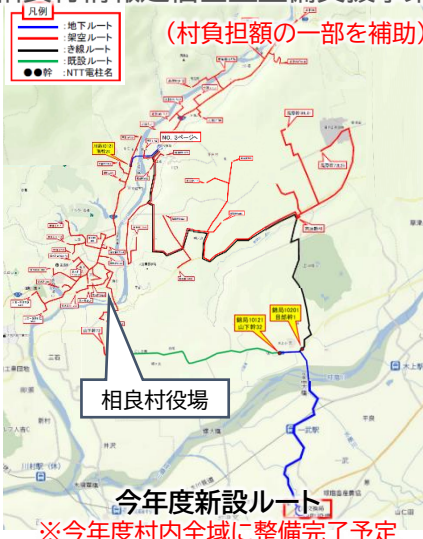


完遂区間嵩上げ改良工事(寄木工区)



国道445号バイパスルート案

##### 相良村情報通信基盤整備支援事業



(村負担額の一部を補助)

今年度新設ルート

※今年度村内全域に整備完了予定

##### 基幹林道(四浦西線)の整備



路線全体計画  
L=16,032m

起工式(R8.3)

# 「緑の流域治水」の取組み等の見える化

## 【取組みの概要】

- 「緑の流域治水」について、球磨川流域住民をはじめ広く県民に情報を発信するための見える化の取組みとして、「緑の流域治水」の取組みを分かりやすく伝える動画や模型などを制作。
- 令和7年度は、これらのコンテンツを活用し、球磨川流域市町村の小中高生に対する出前授業や流域市町村職員に対する研修会等を実施。
- また、各防災イベント等やくまもと防災ウィークでのパネル展示やSNSによる情報発信により県民に広く周知

## 出前授業など

### 出前授業



球磨工業高校 (10/31実施)



南陵高校 (11/26実施)

実績:10校 (延べ約940名)

### 市町村職員研修会



五木村 (2/10実施)

実績:1村 (延べ約56名)

## ブース出展

やつしろ防災フェスタ2025 (2/7)



先進建設・防災・減災技術フェアin熊本  
2025 (11/19~204)

## SNSによる情報発信

### Instagram



### SNS広告



## R6年度制作コンテンツ

### 授業用動画



### 授業用テキスト



学校独自で「緑の流域治水」の授業ができるように、動画やテキスト等の教材を制作。

○「命」と「環境」を両立させる「緑の流域治水」の実現に向けて、河道の流下能力の向上に資する**河道掘削、築堤等の整備を実施**するとともに、更なる水位低下に向けた**遊水機能を有する土地の確保・保全、家屋への浸水被害の軽減を図る宅地かさ上げ等**に取り組む。



# 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み

(①中園川(球磨村)、②井口川(あさぎり町))

## 【取組みの概要】

- 中園川（球磨村）では、宅地の浸水被害を解消するため、球磨村復興まちづくり計画と連携した宅地かさ上げ工事を推進。
- 井口川（あさぎり町）では、遊水機能を有する土地の整備を行い、あさぎり町等と連携しながら利活用を含めた計画検討を推進。

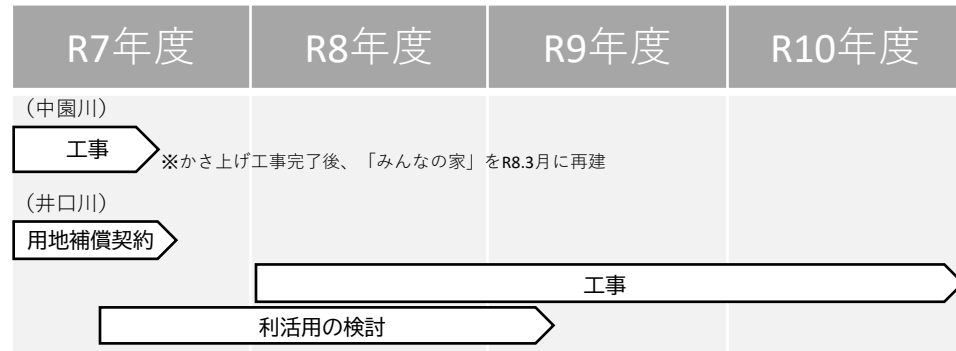
## 【令和8年度の取組み】

- 中園川では、**令和6年11月に工事着手し、令和7年7月に完成。**
- 井口川では、令和7年度に用地買収が完了し、**令和8年4月から周囲堤工事に着手。**並行して、利活用についてあさぎり町等と協議を実施。

## <事業名・予算>

河川改良（緊急自債）事業（単県）・井口川 100,000千円  
 （中園川については、R6予算で完了）

## 【ロードマップ】



中園川 現場状況(R7.7)



井口川 遊水機能を有する土地

# 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み

## (③川辺川、④梶原川(五木村))

### 【取組みの概要】

○村の「“ひかり輝く” 新たな五木村振興計画」の目指す姿の実現に向け、川辺川（五木村宮園）では河川改修と国道445号の道路改良を実施するとともに、梶原川（五木村竹の川）では宅地かさ上げや河川改修、県道五木湯前線の道路改良を実施。

### 【令和8年度の取組み】

- 宮園地区では、用地買収を実施し、出水期後に河川改修工事に着手、本年度中には道路改良工事にも着手。また、引き続き地元のご意見を伺いながら多自然川づくりの取組みを推進。
- 竹の川地区では、既存建物の仮移転を実施し、出水期後に宅地かさ上げ工事に着手。また、県道五木湯前線の道路改良工事を推進。

### <事業名・予算>

広域河川改修事業（交付金）・川辺川 50,000千円

土地利用一体型水防災事業（交付金）・梶原川 70,000千円

河川改良（緊急自償）事業（単県）・川辺川、梶原川 252,500千円

### 多自然川づくりの整備イメージ（宮園地区）



※整備イメージであり変更となる可能性があります

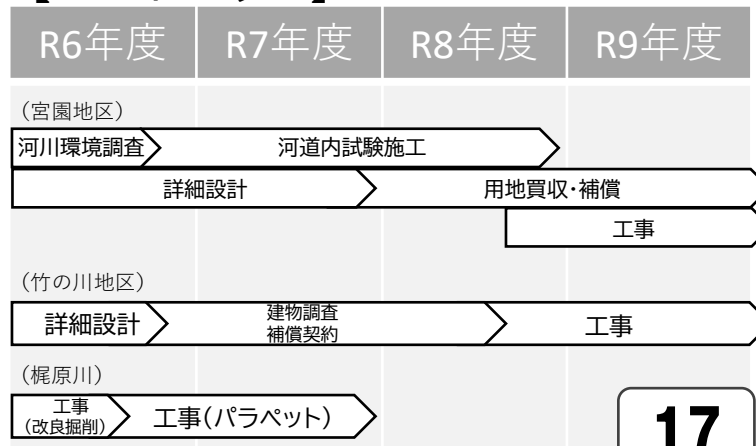
着工式（竹の川地区）



梶原川（パラペット工事完了）



### 【ロードマップ】



# 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取り組み

## (⑤川辺川(相良村))

### 【取組みの概要】

○村が掲げる「相良村復興計画」の基本理念である未来につながるむらづくりの実現に向け、川辺川（相良村）では河川改修や遊水機能を有する土地の確保・保全を実施。

### 【令和8年度の取組み】

○河川改修（平川地区）では、**河川護岸工事を推進**。

（国道445号(四浦東地区)の道路改良(かさ上げ)と連携。）

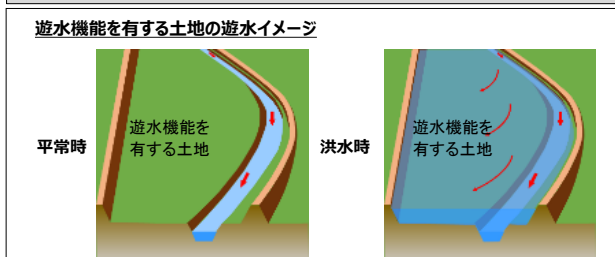
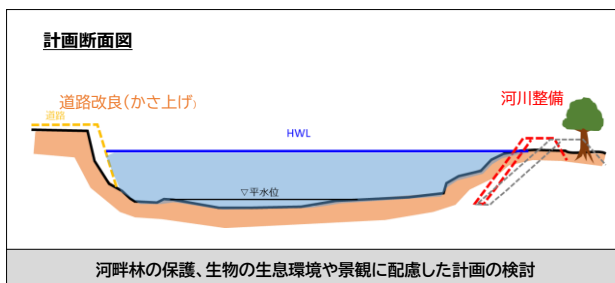
○河川改修（永江・前田・境田地区）では、用地交渉を進めており、**年度末に築堤工事着手予定**。

○遊水機能を有する土地（黒石・下鶴地区）では、**護岸等工事を推進**するとともに、引き続き、村と利活用の検討を実施。

### ＜事業名・予算＞

広域河川改修事業（交付金） ・ 50,000千円、大規模特定河川事業（補助） ・ 100,000千円

河川改良（緊自債）事業（単県） ・ 92,500千円



### 【ロードマップ】

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
(河川改修)				
測量予備設計		詳細設計・用地買収・工事実施		
(遊水機能を有する土地の確保・保全)				
詳細設計・用地買収			工事実施	
利活用の検討・詳細設計(村)				

# 万江川流域の土砂・洪水氾濫対策

## 【取組みの概要】

- 令和2年7月豪雨では、万江川流域内で土砂・洪水氾濫（※）が発生。今後の気候変動により激甚化する大規模な出水で再び土砂・洪水氾濫が発生する可能性が高く、流域住民の安全・安心を確保するため、「砂防」「河川」「治山」の3事業が連携し流域全体で土砂・洪水氾濫対策（都道府県としての取組みは全国初）に取り組む。

※土砂・洪水氾濫とは

豪雨により上流域から流出した土砂が下流の河道に堆積することで、河床上昇・河道閉塞が引き起こされ、土砂と泥水の氾濫が発生する現象。

## 【令和8年度の取組み】

- 砂防：砂防堰堤の測量設計、用地買収及び準備工事（屋形地区、合子俣地区、水無地区）  
溪流保全工の測量設計、用地買収（熊の原地区、尾寄崎地区）
- 河川：河川改修の詳細設計

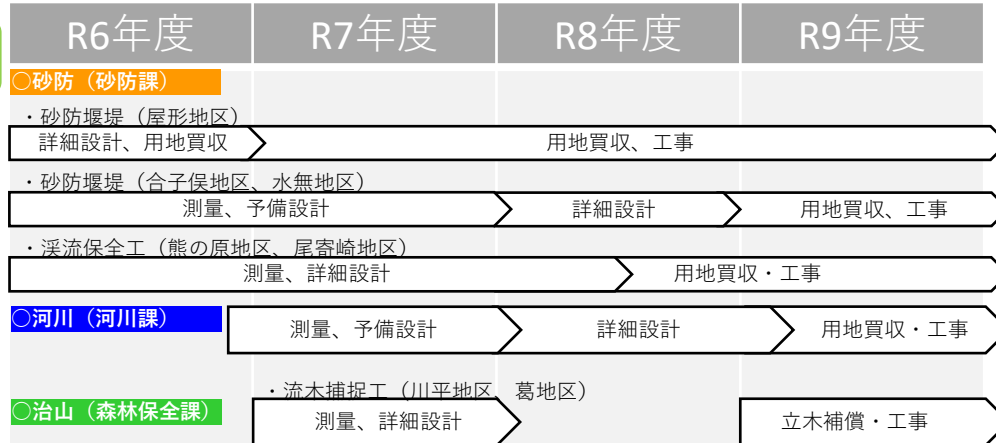
## ＜事業名・予算＞

砂防：大規模特定砂防事業（補助）・200,000千円、河川：防災・安全交付金事業（交付金）・10,000千円

## 【砂防・河川・治山事業が連携した対策のイメージ】



## 【ロードマップ】



「緑の流域治水」の考えに基づき、砂防・河川・治山事業を効果的に組み合わせ、流域全体で総合的な土砂・洪水氾濫対策計画を策定し、実施する。

## 【取組みの概要】

- 再造林面積の拡大に取り組む事業体に対する支援(既存補助金への追加支援)の実施
- 林地保全に配慮した林業の推進に向けたガイドラインのアップデート及び研修会の開催
- 既設治山ダムの復旧及び異常堆積した土砂・流木の撤去
- 緊急に復旧すべき山地崩壊箇所における治山対策の実施
- 田んぼダム等、農地・農業用施設をフル活用した流域治水の取組み

計画箇所数の79%で事業完了

計画箇所数の83%で事業完了

## 【令和8年度の取組み】

- 再造林面積の拡大に取り組む事業体に対する支援(継続)
- 林地保全に配慮した林業(架線集材)に取り組む事業体に対する支援
- 既設治山ダムの機能回復及び山腹崩壊箇所の復旧整備
- 緑の流域治水に資する治山対策の実施
- 田んぼダムの県内全域への普及と水利施設における事前放流の取組み推進

### <事業名・予算>

- ・森林再生支援事業 27百万円
- ・くまもとの県土を保全する林業推進事業 15百万円
- ・過年治山災害復旧事業 490百万円
- ・治山事業(流域保全総合治山事業) 1,214百万円



架線集材の実施状況

百太郎溝における事前放流の取組み



田んぼの学校での田んぼダムの説明 (R7.10)

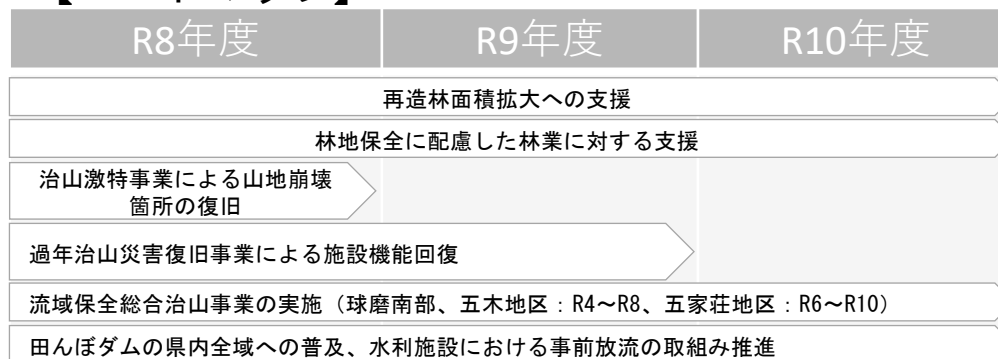


事前放流前(満水)



事前放流後(水位低下)

## 【ロードマップ】



治山激特事業: 五木村(野々脇地区)

# “いのち”を守る防災・減災力の強化

○自助・共助・公助の観点から、“いのち”を守る「防災・減災力の強化」に取り組む。

## 自助

### 【取組みの概要】

○マイタイムラインの普及促進等により、県民の防災意識の啓発や早めの避難(予防的避難)の促進を図る。

### 【令和8年度の取組み】

- 小中学生向け防災教育モデル授業の実施
  - 教職員向け防災教育研修会を開催
  - 県広報媒体等でのマイタイムライン作成の呼び掛け
  - 展示・学習室での自助に係る講座の実施
- <事業名・予算>
- ・自助力強化推進事業:5,002千円(一財・国交付金等)
  - ・防災センター展示・学習室運営事業:17,199千円(一財)



教職員向け防災教育研修会

### 【取組みの概要】

## 災害の経験・教訓の継承

### 【令和8年度の取組み】

- 熊本地震10年の節目に当たり、災害の経験・教訓の継承を図る。
  - 熊本地震10年犠牲者合同追悼式の実施
  - 自治体災害対策全国会議の実施
- <事業名・予算>
- ・熊本地震追悼・復興祈念事業:5,073千円

## 共助

### 【取組みの概要】

○自主防災組織を担う地域防災リーダー(防災士)の育成や自主防災組織活動支援員による支援等を行い、地域防災力の強化を図る。

### 【令和8年度の取組み】

- 地域防災リーダー向け研修・全体会議の開催
  - 火の国ぼうさい塾等を開催
  - 支援員派遣による自主防災組織への助言等の実施
  - 展示・学習室での共助に係る講座の実施
- <事業名・予算>
- ・地域防災力強化事業:13,016千円  
(一財・ふるさとくまもと応援寄附基金)
  - ・防災センター展示・学習室運営事業(再掲):17,199千円  
(一財)



火の国ぼうさい塾(避難所運営訓練)

## 公助

### 【取組みの概要】

○災害時における地理的脆弱性への対応を図るため、衛星ブロードバンドインターネットサービス導入に係る検証を行う。

○県・流域市町村合同で、豪雨対応訓練を毎年度実施し、出水期までに初動対応力の強化を図る。

### 【令和8年度の取組み】

- 球磨地域振興局管内において、衛星ブロードバンドインターネットサービス導入の実証を実施
  - 市町村だけでなく関係機関にも参加を呼びかけ、実災害を想定した豪雨対応訓練を実施
- <事業名・予算>
- ・防災DX推進事業:18,665千円(一財・緊急防災・減災事業債)
  - ・防災対策費:36,845千円(一財等)



豪雨対応訓練風景(於:県防災センター)

### 【ロードマップ】

R8年度

R9年度

R10年度

R11年度

自助

- ・マイタイムラインの普及 ・展示・学習室での防災学習
- ・小中学生向け防災教育モデル授業の実施

共助

- ・地域防災リーダーの育成(火の国ぼうさい塾等の開催) ・住民参加型訓練の実施の支援 ・地区防災計画の作成等の支援 ・展示・学習室での防災学習(再掲)

公助

- ・衛星ブロードバンドインターネットサービス導入の実証、整備
- ・豪雨対応訓練の実施

# 球磨川リバーミュージアム構想の推進に向けた取組み

## 【取組みの概要】

- 球磨川流域で行われている「川との共生」をテーマにした防災と観光復興の（川の恵みを活かす）取組みをつなぎ、「球磨川リバーミュージアム」を旗印として流域内外に発信するもの。
- 地域防災力の向上や流域で暮らす価値・魅力を再認識いただくとともに、流域にしかない特別な体験・価値を創出することで交流人口の増加を図ることを目指す。

## 【令和8年度の取組み】

- 令和7年度は、球磨川流域の観光関係団体等との意見交換会や現地調査、「球磨川リバーミュージアム」の方向性を流域に広く発信するキックオフフォーラム等を実施し、目指す姿や今後の方針を示した「球磨川リバーミュージアム構想」を策定。
- 令和8年度は、構想で位置づけた目指す姿を実現するために必要な推進体制を、国・県・流域市町村等で検討・構築し、「球磨川リバーミュージアム構想推進計画」策定や、効果的な情報発信に向けたロゴ・サインのデザイン作成、モニターツアーの試行等の取組みを進める。

## <事業名・予算>

- ・「球磨川リバーミュージアム構想」推進事業（交付金）：9,600千円

## 構想



**構想と目的**

- 球磨川流域（以下流域という。）では、川の恵みと「防災」との共生と向き合いながら、人文の歴史・自然・観光等の分野で、魅力ある地域・観光地・交流地・観光地が生まれ、生まれ続けてきました。
- 流域には自然と共生する観光により、多くの大切な観光資源が受け継がれてきたが、様々な要因が、観光資源の劣化や減少につながっています。観光資源の劣化・減少、そのための観光資源の創出が求められています。
- 本構想では、球磨川リバーミュージアムを旗印に、球磨川を軸としてヒートマップの観光資源を軸に、「球磨川リバーミュージアム」としてブランド化し、防災と復興力を高めることで、流域内外の観光客の増加を図り、流域内外の人口が増え、持続可能な地域復興を目指す。

**令和2年度7月策定後の球磨川流域の課題**

- ・観光客の減少
- ・観光資源の劣化
- ・観光客の減少
- ・観光資源の劣化
- ・観光客の減少
- ・観光資源の劣化

**球磨川リバーミュージアム構想の発信方法のイメージ**

これまでの発信

- ・観光客の減少
- ・観光資源の劣化
- ・観光客の減少
- ・観光資源の劣化
- ・観光客の減少
- ・観光資源の劣化

**球磨川リバーミュージアム構想の推進方法のイメージ**

推進方法

- ・観光客の減少
- ・観光資源の劣化
- ・観光客の減少
- ・観光資源の劣化
- ・観光客の減少
- ・観光資源の劣化

## キックオフフォーラムの様子



## 【ロードマップ】

R8年度	R9年度	R10年度
推進体制のネットワーク化	効果的な取組みの検討	
推進計画策定	推進計画に沿った取組み	
流域資源のストーリー化	情報発信（HP作成・ロゴ・サインの設置等）	
モニターツアー実施・モデルルート作成		

◆すまい・コミュニティの創造





## 【取組みの概要】

- 「なりわい再建支援補助金」による被災事業者の施設・設備の復旧を支援
  - 補助金の活用を希望される被災事業者全ての事業再建に向け、最後の1者まで支援を継続
- 補助金交付決定：512件      復旧完了：504件      （完了率98.4%）

## 【令和8年度取組み】

- 公共事業（人吉市の土地区画整理事業等）の影響により、やむを得ず令和7年度までに申請できなかった事業者（残り6件）に対する支援を実施

## ＜事業名・予算＞

- ・なりわい再建支援事業：1,846,951千円（R7年度2月補正＋R8年度当初）

## 【復旧状況（例）】

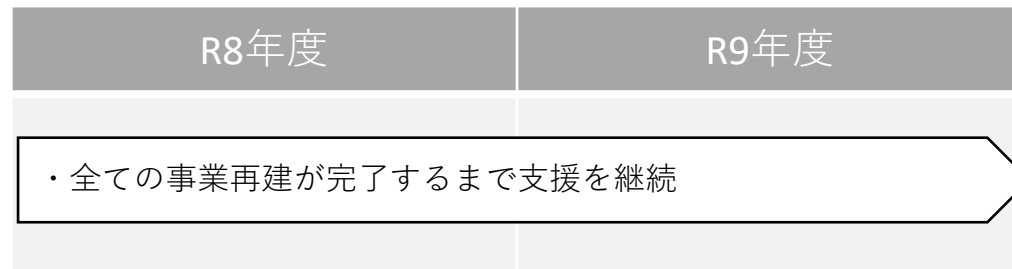


（被災時）



（復旧後）

## 【ロードマップ】

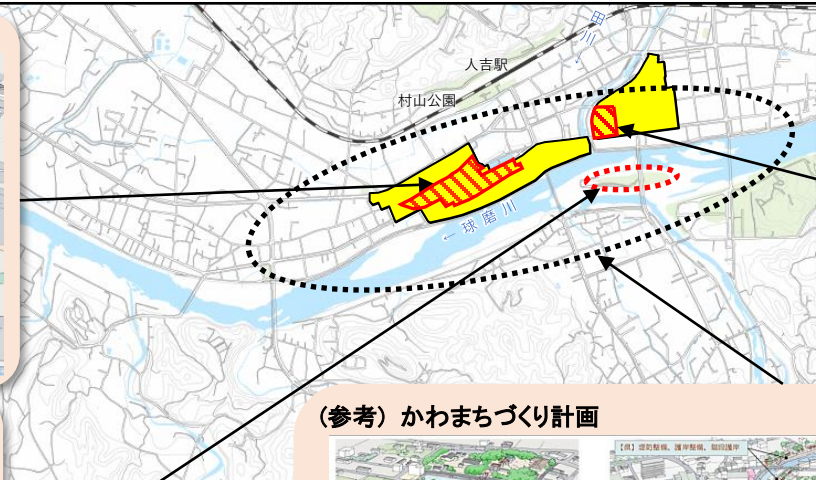


- ① 青井地区 青井被災市街地復興土地区画整理事業(県)及び国道445号改築事業(県)を一体的に実施。
  - ② 中心市街地地区 紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業(市)及び山田川広域河川改修事業(県)を一体的に実施。
  - ③ 中川原公園の復旧 中川原公園について都市災害復旧事業(市)を実施。
- (参考)かわまちづくり 利用者・地域住民・市民活動団体・企業・地域自治体・河川管理者等が協力しあって、人吉市のまちづくりと連携しながら球磨川の水辺空間を活かした“球磨川・人吉地区かわまちづくり”を推進。

① 青井地区の復興まちづくり整備計画案



② 中心市街地地区の復興まちづくり整備計画案

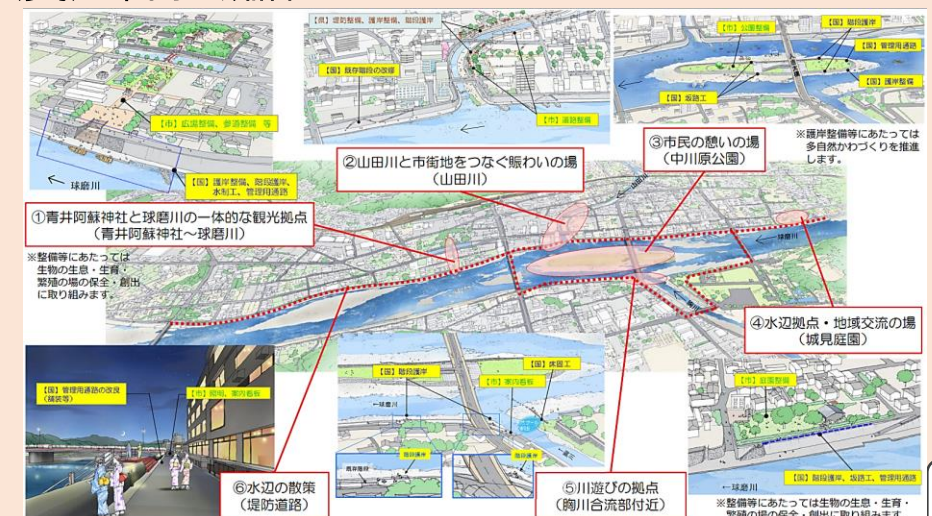


③ 中川原公園の復旧

※R7.4時点



(参考)かわまちづくり計画



凡 例

- 被災市街地復興推進地域
- 土地区画整理事業区域

# ①青井地区における復興まちづくりの推進

## 【取組みの概要】

○土地区画整理、国道445号改築及び“かわまちづくり”の一体的な整備により被災市街地の復興を推進。

## 【令和8年度の取組み】

○土地区画整理は、令和8年4月までに約1割で宅地の引渡しが完了しており、令和10年度の完了に向けて、引き続き、移転補償や造成工事を推進。

○国道445号改築は、令和13年度の完了に向けて、引き続き、用地取得や道路改良工事(拡幅)を推進。

## <事業名・予算>

○青井被災市街地復興土地区画整理事業・619,900千円    ○国道445号改築事業・803,298千円



## 【ロードマップ】



## ②中心市街地地区における復興まちづくりの推進

### 【取組みの概要】

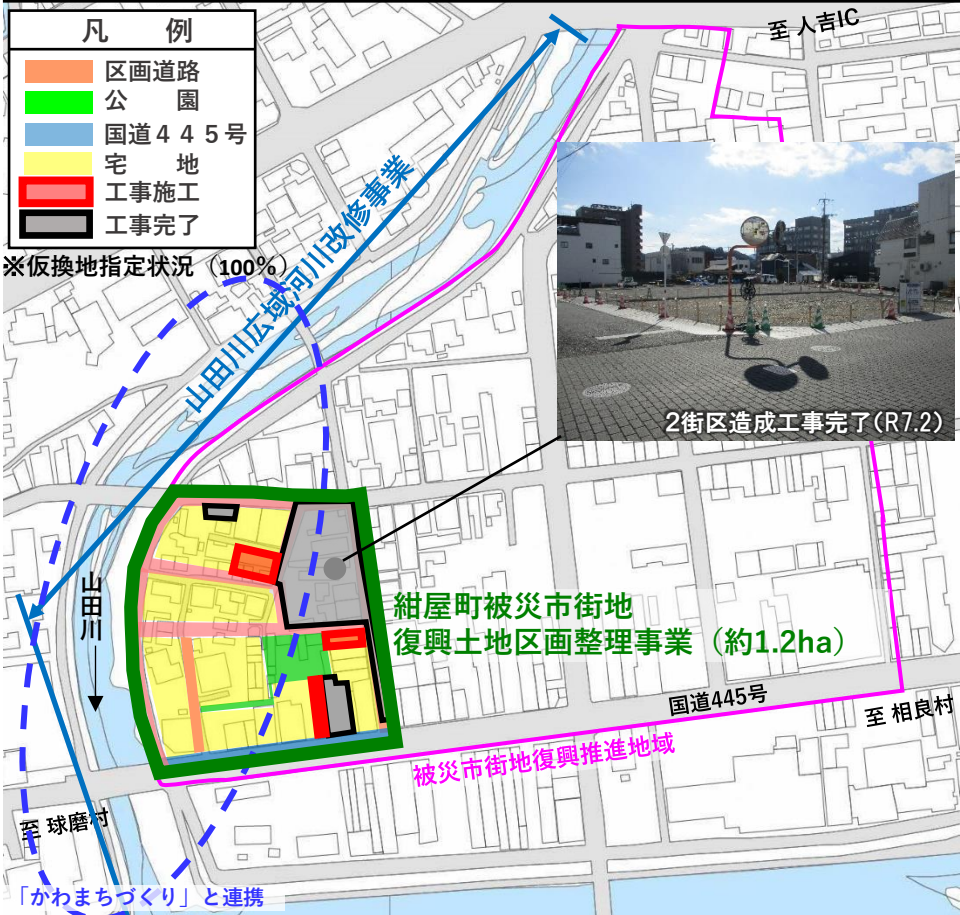
○土地区画整理(市施行)、山田川河川改修(県施行)及び“かわまちづくり”の一体的な整備により中心市街地の賑わいを創出し、被災市街地の復興を推進。

### 【令和8年度の取組み】

○土地区画整理は、令和7年3月末までに全ての仮換地指定を完了。引き続き、**移転補償や造成工事を推進**。  
○山田川河川改修の全体施工計画策定、建物調査及び用地取得を進め、並行し**土地区画整理の進捗に応じて工事に着手**。

### <事業名・予算>

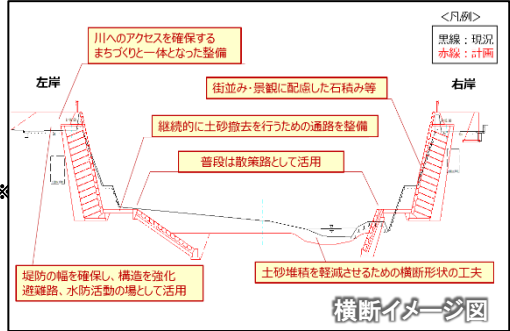
○紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業・20,000千円 ○山田川広域河川改修事業・10,000千円



紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業	
事業主体	人吉市
面積	約1.2ha
施行期間	R4年度～R10年度
事業費	約18.9億円
進捗率	58.3% (事業費ベース)

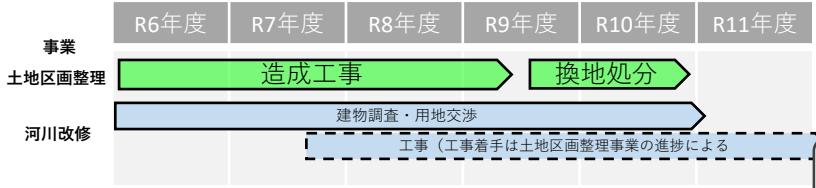


山田川広域河川改修事業	
事業主体	熊本県
延長	0.5km
施行期間	R4年度～R15年度※
事業費	約17.6億円
進捗率	26.1% (事業費ベース)



※土地区画整理事業隣接区間の整備期間はR4～R10

### 【ロードマップ】

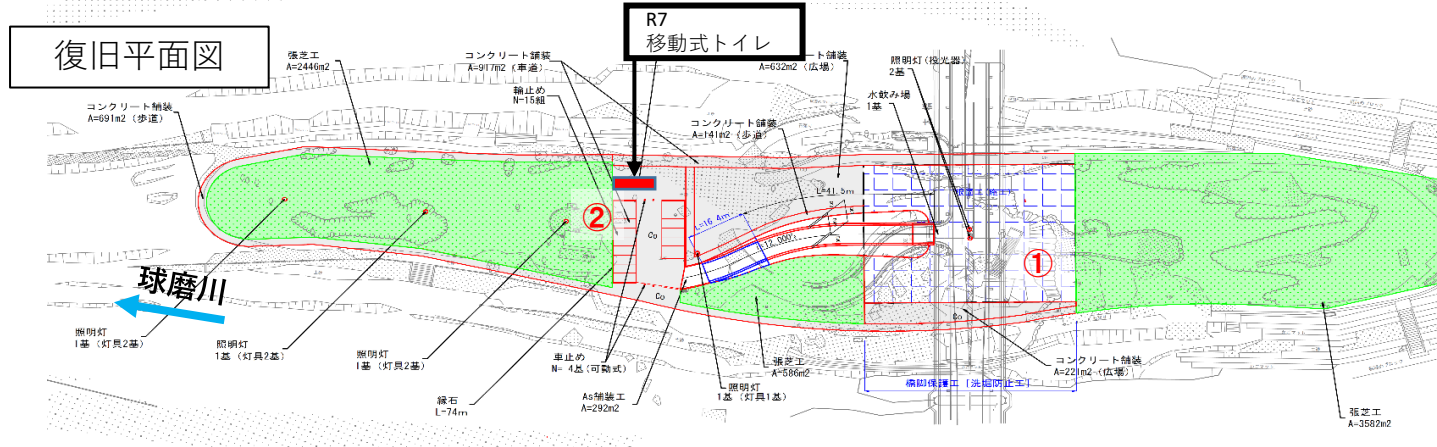


## 【取組みの概要】

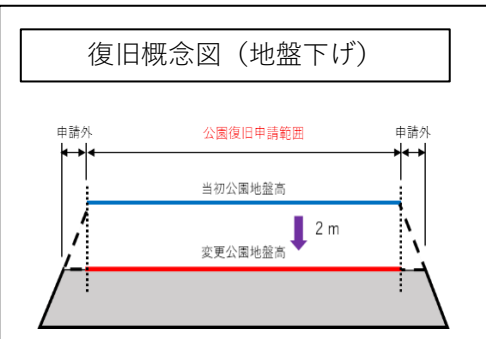
○令和2年7月豪雨災害で被災した人吉市の中川原公園における災害復旧事業を実施（市施工）。

## 【令和7年度の取組み】

○令和7年度に移動式トイレを設置し、中川原公園の災害復旧事業を完了。



移動式トイレ設置状況



## 【ロードマップ】



## 【取組みの概要】

- 相良村では、川辺川の魅力を村内外に発信し、川辺川を中心とした周辺環境・地域資源を活かした地域活性化・関係交流人口の増加につなげるため、廻地区で県の河川整備と連携し、拠点施設の整備を進めている。
- そのメインの建物となる交流拠点施設について、アートポリス事業で住民参加型の施設整備を支援する。

## 【令和8年度の取組み】

- 施工段階での現場見学会や完成見学会等のイベント実施
- アートポリスのSNS (Facebook、Instagram、X) 等を活用した情報発信
- 設計者や施工者との協議時に村職員への技術的な支援・助言



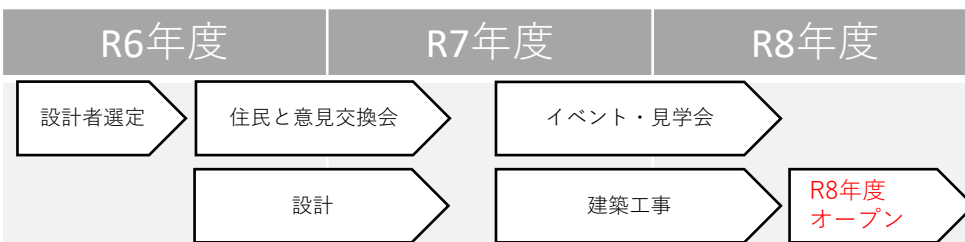
## <事業名・予算>

- ・くまもとアートポリス推進費（単県）：9,525千円 ※他事業も含む予算

相良村（廻地区）における川辺川を活かした拠点づくり



交流拠点施設（イメージ）



### ●交流拠点施設

( 交流スペース、多目的スペース、炊事場、事務所、シャワールーム、トイレ等 )

## 復興まち・むらづくりの進捗状況について(八代市坂本町)

## 【現状】

- ・橋梁架替：1橋完成（坂本橋）、2橋着手済み
- ・宅地嵩上げ・輪中堤：21地区で実施、4地区完了
- ・国道219号：八代市渡町～坂本橋の約10kmの区間が工事完了。現在、坂本橋から上流部の嵩上げ工事中
- ・災害公営住宅：4か所計20戸すべて完了
- ・坂本地区の人口：R1.6末 3,429人  
→R8.3末 2,178人（▲36%）



## 地区が抱える課題・今後の取組みについて(坂本支所地域復興課聴き取り)

## 【地域住民の受け止め】

・坂本支所、坂本橋の完成、八代市渡町から坂本橋までの国道219号の完成など、地域住民の利便性が大きく向上した。一方、坂本支所から上流部の国道の復旧、輪中堤、宅地かさ上げ事業は継続して行われており、坂本住民自治協議会会長からは「復旧・復興はまだ3割」との意見があり、地域住民の意見も同様である。

## 【行政から見た課題等】

・坂本町では、豪雨災害後の急速な過疎化、少子高齢化が課題となっており、地域の担い手、後継者不足が深刻化している。コミュニティの衰退、集落の存続が危ぶまれる地区も顕在化し、地域資源の減少、地域文化の衰退が危惧されている。

・発災後、町内には生活に必要な商店等が無くなり、買い物弱者が増加している。また、急速な過疎化、高齢化により交通手段の確保が困難な交通弱者も増加している。

・復旧・復興は、関係機関連携のもと急ピッチで進められているものの、工事に伴う交通規制等の影響が大きく、観光施設、観光地の来客数が激減し、観光振興施設の運営は厳しい状況が続いている。

## 【課題等への対応、今後の展望】

- 地域おこし協力隊を中心とした文化の伝承
  - ・急速冷凍による郷土の伝統菓子「ぼたもち」の商品化、無形民俗文化財に指定されている「木々子地区七夕綱」の動画製作や制作体験事業などに取り組んでいる。
- 買い物弱者、交通弱者への支援
  - ・移動販売空白地の把握や情報提供を行うとともに、坂本診療所の診療日に合わせた移動販売の実施、公共交通の運行調整等を行っている。
- 観光施設と観光資源を活かした地域振興
  - ・「道の駅坂本」は、令和9年7月のオープンを目指し、再整備を進めている。豊かな自然環境を活かした自然体験や既存の観光振興施設を活用した観光振興を図り、賑わいの創出に取り組む。



## さかもと八竜天文台



## さかもと温泉センター



球麗温

# 復興まち・むらづくりの進捗状況について(球磨村)

## 【現状】

- ・ 橋梁架替：（完成）沖鶴橋・松本橋  
（着手済）相良橋・神瀬橋・大瀬橋
- ・ 宅地嵩上げ・輪中堤：12地区で実施、5地区完了
- ・ 災害公営住宅：3か所計75戸すべて完了
- ・ その他：県受託により塚の丸団地（40戸）整備完了
- ・ 球磨村の人口：R1 3,307人  
→R7 1,589人（▲52%）※推計人口

## 沖鶴橋完成式



災害公営住宅

## 地区が抱える課題・今後の取組みについて(球磨村復興推進課聴き取り)

### 【地域住民の受け止め】

- ・ 復興状況はおおむね好意的に受け止められている。  
村も事業を進めるなかで、地元との合意形成を図っている。



### 賑わい拠点施設整備についての地元の説明会



### 【行政から見た課題】

- ・ 村内に買い物をする場所が少なく、現在は移動販売車2事業者が村内を巡回しているが、買い物支援が必要との認識。
- ・ 被災後、転出者が増加し人口が減少。  
地域のコミュニティ形成が困難になっているなか、移住者も少なく、特に子育て世帯が減少しており、今後、保育園や学校の維持も含め、いかに人を呼び込むかの仕組みづくりが必要。



移動販売

### 【課題等への対応、今後の展望】

- ・ JR肥薩線復旧後の活用が重要であり、渡地区に鉄道駅の復旧と併せて道の駅エリア、川の駅エリアの機能を集約したい。具体的には、渡小学校跡地に、「道の駅」機能を持った地域の賑わいづくり拠点施設と、物産館、遊具施設、ヘリポートなどの整備を想定。  
また、球磨川くだりの「急流コース」復活も人吉市と検討中。
- ・ この他にも、交流人口を増やすため、洞窟探検家の吉田勝次氏（地球探検社）と協定を結ぶなど地域資源を活用した観光振興を進めていく。



球磨村賑わい拠点施設整備事業(イメージ)



被災前の球磨川くだり 渡発船場



地球探検社の吉田勝次氏との協定

- ・ 地域おこし協力隊4名のうち1名が中心となり、R8.8に仮設の直売所をオープン予定。
- ・ 被災した世帯の多くが渡地区の高台等の住宅で暮らしており、高台地域を通るバス路線への変更について人吉市及びバス事業者と協議中。

## 球磨川水系川内川での氾濫対策の取組

- 河川区域の対策として、災害復旧や河道掘削を実施し、河道の流下能力を確保する。
- 集水域の対策として、主な氾濫原因である河道への土砂・流木の流入に対し、砂防堰堤、治山ダムや山腹工、流木止めを実施することで、河道埋塞の防止を図るなど、河川事業・砂防事業・治山事業が連携して「流域治水」を推進。
- 令和7年度末までに、河道掘削、護岸復旧、砂防堰堤2箇所、治山ダム3箇所、山腹工5箇所が完成。



## 【取組みの概要】

- 令和2年7月豪雨により甚大な被害を被った「八代警察署坂本駐在所」について、地域住民の安全安心を守るための拠点として再建し、機能回復を図るもの

## 【令和7年度取組み】

- 他の公共施設、生活サービス施設を集約化した「八代市坂本支所等」の施設再建計画に伴い、同敷地内に「八代警察署坂本駐在所」を再建

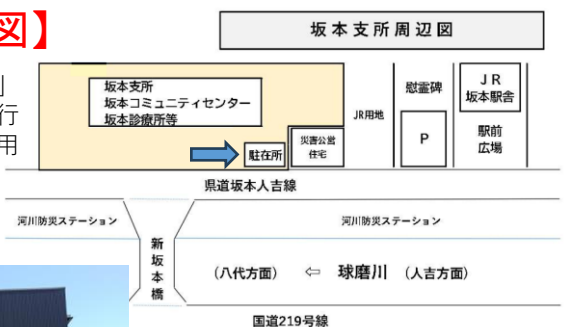
- 令和8年3月上旬に新築工事が完了、同年3月30日から新「坂本駐在所」の運用を開始

## ＜事業名・予算＞

- ・ 「警察施設災害復旧費」：71,574千円

## 【イメージ図】

「坂本支所だより」  
R8.1.27発行  
第245号から引用



駐在所落成式  
R8.5.19

## 【ロードマップ】





◆災害に強い  
社会インフラの整備



# 国道219号等の早期復旧に向けた取組み

## 【取組みの概要】

○球磨川の流失橋梁（10橋）、国道219号及び対岸道路等（両岸延長約100km）の早期復旧に向け、国の権限代行により災害復旧事業を実施中。

## 【令和8年度の取組み】

○国道219号および対岸道路（国による権限代行）

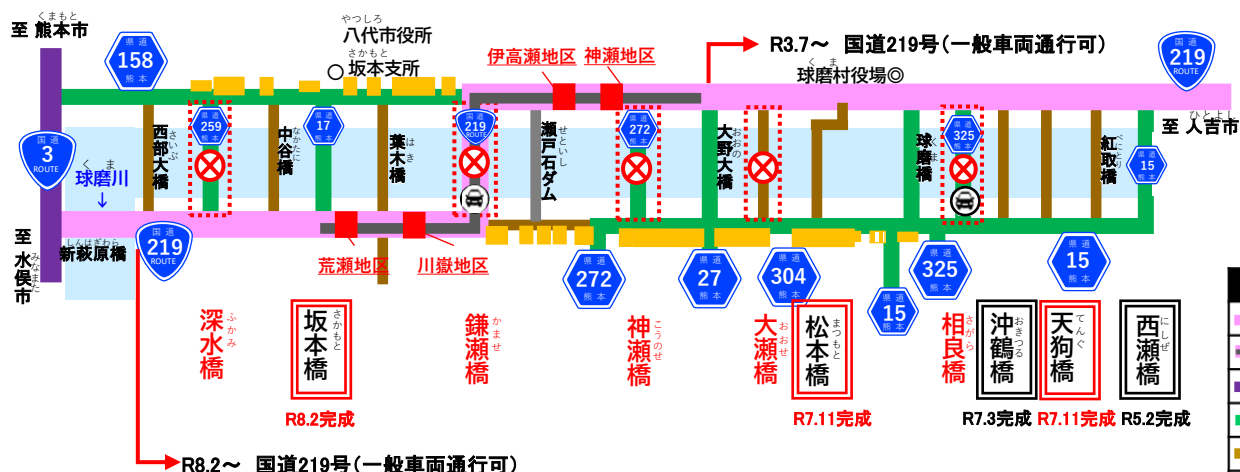
- ・『国道219号等の道路復旧方針』（※）に基づき、避難計画やまちづくり計画等を踏まえ、引き続き国・県・市町村が連携し、被災した道路護岸の復旧や嵩上げ工事など本復旧工事を推進。
- ・国道219号においては、**護岸復旧工事が概成した区間から順次嵩上げ工事を推進。**
- ・対岸道路においては、迂回路整備や本復旧工事を推進。

○橋梁（国による権限代行）

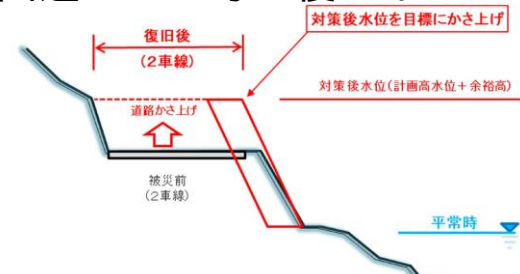
- ・流失橋10橋のうち5橋完成、**残る5橋の上部工工事を推進。**  
 （完成：西瀬橋（R5.2）、沖鶴橋（R7.3）、松本橋（R7.11）、天狗橋（R7.11）、坂本橋（R8.2））

（※）令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第9回）R4.3.24 P43参照

## 【国道219号等 復旧状況】



## 【国道219号 復旧イメージ】



凡例	～交通状況～
<span style="background-color: #fce4d6;"> </span>	国道219号（通行可）
<span style="background-color: #e1bee7;"> </span>	国道219号（通行止）
<span style="background-color: #e8eaf6;"> </span>	国道
<span style="background-color: #e2efda;"> </span>	県道
<span style="background-color: #fff9c4;"> </span>	市町村道
<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">X</span>	流出橋梁
<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">⊗</span>	仮橋設置（通行可）

凡例	～復旧状況～
<span style="background-color: #f44336;"> </span>	本復旧工事中（道路）
<span style="border: 2px dashed red;"> </span>	本復旧工事中（橋梁）
<span style="background-color: #ffc107;"> </span>	迂回路整備済（JR肥薩線活用）
<span style="border: 1px dashed yellow;"> </span>	迂回路整備中（JR肥薩線活用）

# 国道219号等の早期復旧に向けた取組み(道路)



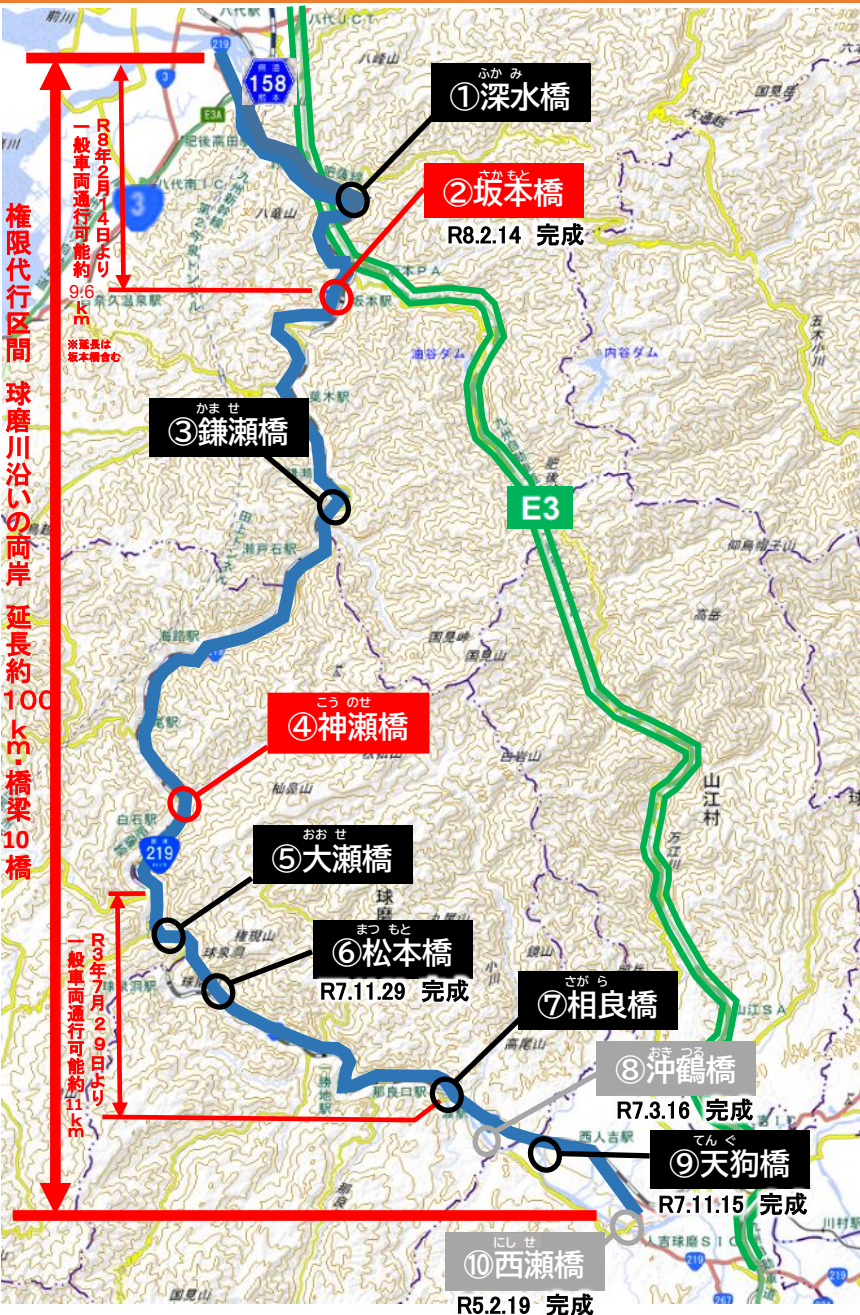
## なかたに 中谷地区(県道158号 中津道八代線)



## かわたけ 川嶽地区(国道219号)



# 国道219号等の早期復旧に向けた取組み(橋梁①)



## ②坂本橋(主要地方道 坂本人吉線)



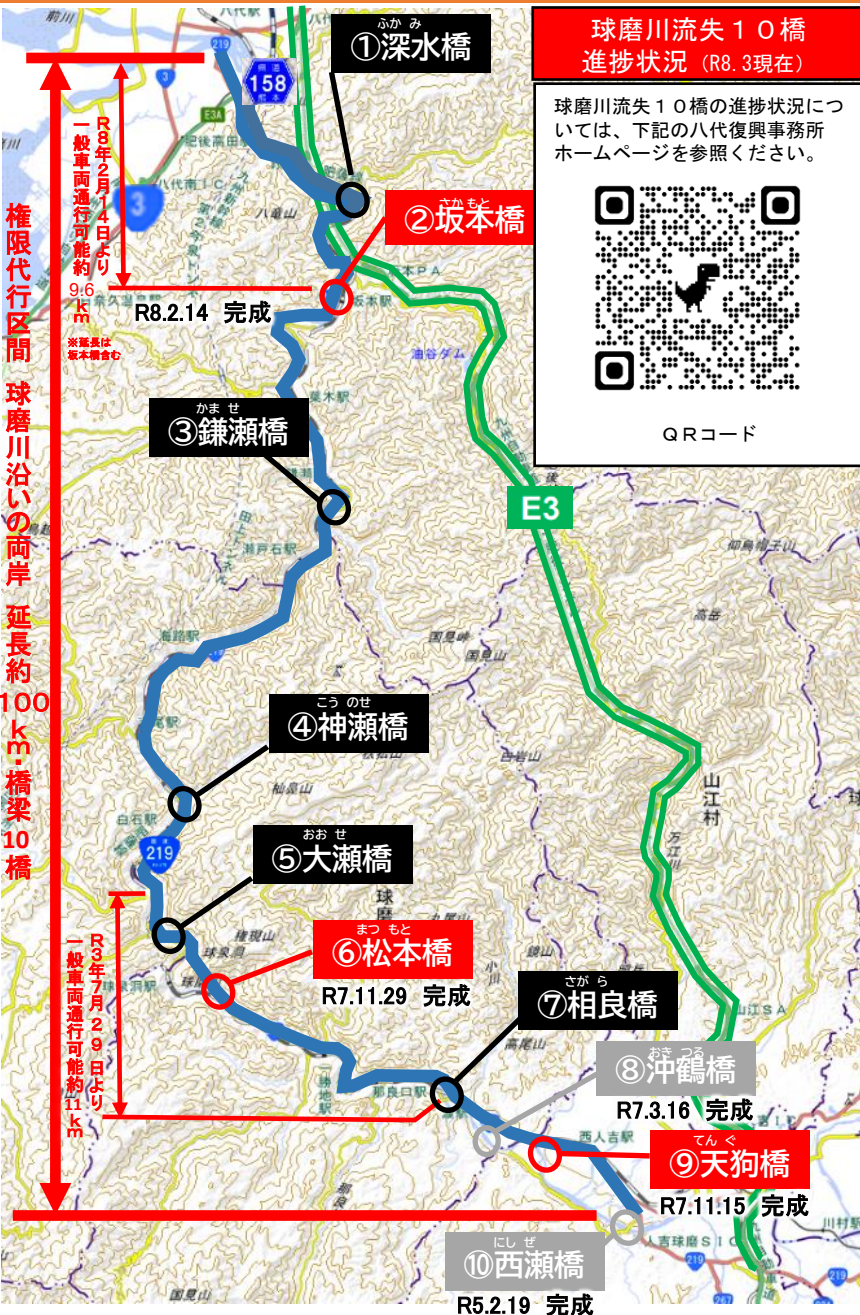
R8.2.14 完成

## ④神瀬橋(県道 球磨田浦線)



R8.3 上部工(アーチ部閉合完了)

# 国道219号等の早期復旧に向けた取組み(橋梁②)



①深水橋(一般県道 小鶴原女木線)



③鎌瀬橋(国道219号)



⑤大瀬橋(球磨村道 大瀬吉松線)



⑦相良橋(一般県道 遠原渡線)



⑨天狗橋(人吉市道 中神大橋線)



②坂本橋(主要地方道 坂本人吉線)



④神瀬橋(一般県道 球磨田浦線)



⑥松本橋(球磨村道 松本大坂間線)



⑧沖鶴橋(球磨村道 沖鶴線)



⑩西瀬橋(主要地方道 人吉水俣線)



## 【取組みの概要】

- 令和2年7月豪雨により被災したくま川鉄道について、**令和8年度上半期の全線運行再開を**目指し、災害復旧事業を実施。
- くま川鉄道は、通勤・通学等の日常生活を支える交通手段であり、また、地方創生、観光振興等に重要な役割を果たしており、上下分離方式の導入により復旧後の持続可能な運行を確保。

## 【令和8年度の取組み】

- 国の「特定大規模災害等鉄道施設災害復旧事業」を活用し、球磨川第四橋梁上の軌道復旧等の復旧工事を実施。
- 全線運行再開を起爆剤として、地域活力の向上と鉄道利用の促進を図るため、くま川鉄道や人吉・球磨10市町村が実施する誘客促進に資する取組みを支援。

## ＜事業名・予算＞

- ・くま川鉄道災害復旧支援事業（国1/2, 県1/4, 市町村1/4）：125,000千円
- ・くま川鉄道全線運行再開支援事業：22,500千円



## 【ロードマップ】



## 【取組みの概要】

- JR肥薩線（八代～人吉間）の運行再開に向けて、災害復旧事業を支援
- 鉄道での復旧に向けて、地元市町村とともに「JR肥薩線復興アクションプラン」を策定。  
「清流球磨川」と「百年レイル肥薩線」という二つの「線」を活かし、観光を軸とした日本一の地方創生モデルを実現するため、観光利用・日常利用の双方を促進

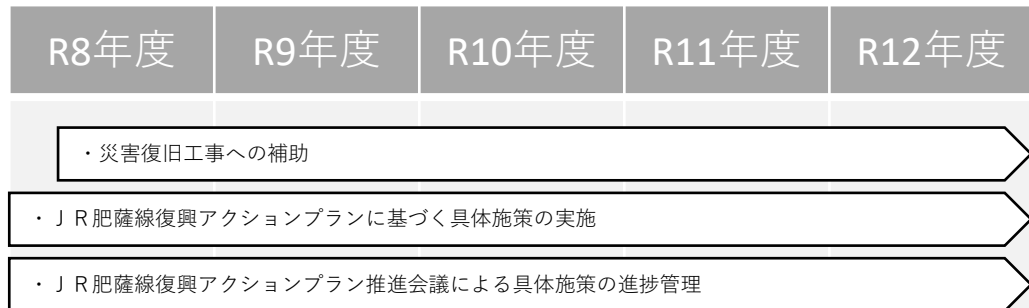
## 【令和8年度の取組み】

- JR肥薩線（八代～人吉間）の災害復旧事業に対する補助事業の実施
- 「JR肥薩線復興アクションプラン」に基づき、観光列車の導入に向けた検討や、サポーターズクラブの運営等の取組みを、沿線市町村・JR九州等と連携して推進

### <事業名・予算>

- ・ JR肥薩線災害復旧支援事業（国1/3, 県1/3, 事業者1/3）：83,334千円
- ・ JR肥薩線復興アクションプラン推進事業：44,995千円

## 【ロードマップ】



◆観光を軸とした  
創造的復興の実現



## 【取組みの概要】

- 令和2年7月豪雨で被災した人吉・球磨地域の宿泊者数はコロナ前の水準を回復しておらず、重点的な誘客強化が必要。
- JRグループ等と連携し、令和8年夏に国内最大級の観光キャンペーン「熊本デスティネーションキャンペーン(熊本DC)」を開催し、豪雨被災地域をはじめとした県内全域への誘客を図る。
- 令和8年上半期に全線運行再開するくま川鉄道を軸にモニターツアーを実施し、観光客の増加や滞在時間の延長による消費拡大を図る。

## 【令和8年度の取組み】

- 熊本DC開催にあわせ、ポスターやガイドブック、観光動画などによる誘客プロモーションや着地型商品の販売などを行い、誘客を図る。
- 今年上半期に全線運行再開するくま川鉄道を軸に、沿線エリアの観光資源等をつないだ周遊プランの造成やモニターツアーなどを実施する。

### <事業名・予算>

- ・ くま川鉄道沿線周遊促進緊急支援事業：35,000千円
- ・ 観光誘客プロモーション推進事業：192,978千円 ※県全域での予算

## 【ロードマップ】

R8年度	R9年度	R10年度～
DC開催	DC後のレガシー活用（受入体制等）	
旅行会社セールス		
全国へのPR		
周遊プラン造成・モニターツアー実施		



R7年度 全国宣伝販売促進会議の様子

## 【取組みの概要】

- 豪雨災害以降、観光復興の中核的な役割を担ってきたアニメ「夏目友人帳」等のコンテンツを活用した取組みを推進することで、ファンの更なる誘客を図る。
  - 集客スポットの形成 (ex. ハード・ソフト取組みの拡張等)
  - アニメ「夏目友人帳」をフックとしたサービスの開発・販売

## 【令和8年度の取組み】

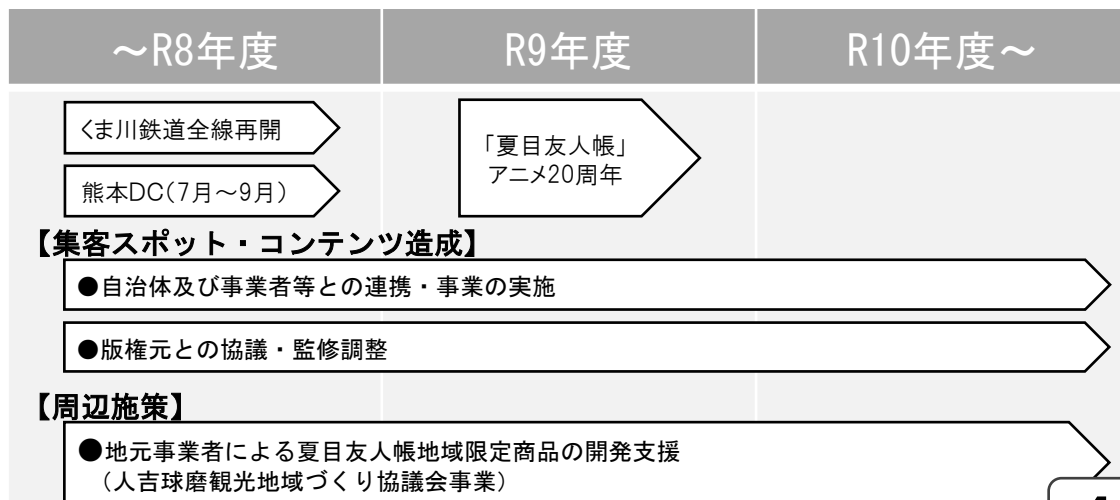
- 『るるぶ夏目友人帳』に掲載された新たなモデル地等を踏まえて、特設サイトやデジタルスタンプラリー等の周遊スポットの拡大を進める。
- 熊本デスティネーションキャンペーン(熊本DC)と民間事業者が連携した、人吉・球磨地域を巡るオリジナルカードラリーを実施する。
- 熊本の認知度向上と人吉・球磨地域への誘客につながるバスツアーやタクシープランなどの民間事業者・地元自治体の取組みを支援する。

## <事業名・予算>

- ・「マンガ県くまもと」構想推進事業 17,226千円(うち一部)



## 【ロードマップ】



## 【取組みの概要】

- 500年の歴史や伝統、文化を誇る球磨焼酎の多様な魅力の発信による新たなファンの獲得。
- 球磨焼酎酒造組合等の関係団体と連携し、都市圏の百貨店や飲食店での球磨焼酎フェアなどを通じた新たな販路の開拓・拡大。
- 蔵元の商品開発や国内外の展示会・コンペティションへの出展等の取組みへの支援

## 【令和8年度の取組み】

- 都市圏の百貨店や飲食店等と連携した球磨焼酎イベントの実施
- くま川鉄道全線運行再開を契機とした球磨焼酎のプロモーション強化
- 球磨焼酎酒造組合等の関係団体が実施する新たな販路開拓やプロモーション、蔵元が行う有料体験などを活用した蔵ツーリズムの誘客促進に向けた取組みの支援
- 蔵元が行う輸出に向けた商品開発や国内外の展示会やコンペティション等への出展支援

### <事業名・予算>

- ・「食のみやこ熊本」球磨焼酎消費拡大推進事業：35,000千円(重点支援交付金)
- ・くまもと県産酒物価高騰緊急支援事業(球磨焼酎分)：64,000千円(重点支援交付金)



日本の「伝統的造り」のユネスコ無形文化遺産登録を契機とした国内外プロモーション



## 【ロードマップ】

	R8年度	R9年度	R10年度
	くま川鉄道全線運行再開 プロモーション強化		
球磨焼酎の多様な情報発信			
球磨焼酎フェアなどの販路開拓・プロモーション			
球磨焼酎酒造組合等の関係団体、蔵元への支援			



**◆地域の特色を活かした  
産業活性化と雇用の創出**



## 【取組みの概要】

- 現場の即戦力となる人材の確保・育成を目的として、「くまもと林業大学(長期課程)」において、県北校と県南校の2校体制で200日間の研修を実施
- 「選ばれる林業大学校」となるよう魅力を向上させ、より多くの人材を確保・育成することを目的に、林業大学校の機能拡充の方向性等を取りまとめた「基本構想」を令和8年3月に策定
- 五木村内の県有林等をフィールドに、以下の取組みを実施
  - ・低コスト造林技術に関する実証
  - ・架線集材や森林の共同管理、保全すべき森林エリアの設定方法等に関する研修会の開催

## 【令和8年度の取組み】

- 「選ばれる”くまもと林業大学校」となるべく、令和10年4月に開校予定の校舎(五木東小学校)の改修設計やカリキュラムの検討等について、関係機関と連携により実施
- 花粉の少ないスギ苗木等の成長量や低コスト・省力化造林技術の有効性の実証調査等(継続)

## ＜事業名・予算＞

- ・くまもと林業大学校人財づくり事業 171百万円
- ・五木村グリーン成長加速化総合対策事業 8百万円



省力化造林技術の実証・研修

くまもと林業大学校の架線集材研修



## 【ロードマップ】

R8年度	R9年度	R10年度
基本構想に基づく機能拡充に向けた協議・関係機関調整	校舎改修	新たな林業大学校の運営開始
先進的架線集材の実証・横展開・普及		
保全林設定基準等の検討・横展開・普及		
低コスト造林技術実証調査・研修実施・普及		
森林の共同管理に向けた検討・横展開・普及		

# 森林サービス産業の展開と森林環境教育を通じた関係人口創出

## 【取組みの概要】

- 森林空間を健康、観光、教育等多様な分野で活用する「森林サービス産業」の地域全体における展開
- 森林環境教育を通じた都市農村交流による関係人口創出

## 【令和8年度の取組み】

- 人吉市、あさぎり町、五木村、球磨村、八代市、芦北町の各団体が展開している森林サービス産業のPRと森林フィールド整備への助成
- 団体等が自ら行う森林整備活動への助成及び森林自然観察・体験教室の開催

### <事業名・予算>

- ・未来につなぐ森づくり事業(単県)：53,223千円の内数

市町村	取組内容
人吉市	ジビエ活用プラン
あさぎり町	ビハ公園を中心としたあさぎり振興プラン
五木村	森林サウナ、E-BIKE体験型プラン
球磨村	森林サウナとサウナ飯を核とした球泉洞観光事業復興プラン
八代市	五家荘の森林トレッキングプラン
芦北町	森林空間フットパスと心理療法体験プラン

五木村の森林サウナ



## 【ロードマップ】

R8年度	R9年度	R10年度
・各コンテンツのPRと森林フィールド整備		
・団体等が自ら行う森林整備活動等への助成及び森林自然観察・体験教室の開催		

## 【取組みの概要】

○県全体の均衡ある経済発展と県南地域の令和2年7月豪雨からの早期復興のため、くまもと県南フードバレー構想の更なる推進と経済効果をもたらす企業の農業参入・定着を推進。

## 【令和8年度取組み】

- 県南フードバレー構想(ステージ2)の推進による、**農産物や酒等の高付加価値化及び食品関連企業の育成と誘致。**
- 企業参入受入に向けた市町村の体制構築、参入企業の営農開始・規模拡大時の機械導入等支援**

## <事業名・予算>

- ・フードバレー構想推進事業(17,719千円)
- ・フードバレーアグリビジネスセンター推進事業(25,358千円)
- ・くまもと県南フードバレー農産物等高付加価値化緊急支援事業(190,500千円)
- ・企業の農業参入トータルサポート事業(20,558千円)
- ・農業参入受入体制整備事業(8,254千円)



フードバレーフェスタの様子

## 【ロードマップ】

	R8年度	R9年度	R10年度
くまもと県南フードバレー構想の推進	▶		
食品関連企業の誘致と地場企業の育成	▶		
市町村の受入体制整備	▶		
企業の農業参入・定着支援	▶		

# 新規県営工業団地(八代市事業区)の整備

## 【取組みの概要】

- 令和3年11月に、半導体受託生産世界最大手の台湾TSMCの熊本進出が決定以降、県内への企業進出が相次ぐ中、県南地域にも新たな企業進出の受け皿となる工業団地を整備。
- 八代地域のポテンシャルを活かした食品関連企業、半導体関連企業など、地元の雇用確保や地域の活力につながる企業を積極的に誘致していく。

## 【令和8年度取組み】

- 用地買収、実施設計、準備工事・造成工事 等
- 分譲方針の検討

### <事業名・予算>

工業団地施設整備事業(単県、特別会計) : 3,337,212千円(※菊池市事業区分を含んだ金額)

### <場所>

八代市岡町、興善寺町及び千丁町吉王丸(県道246号(千丁停車場興善寺線)沿線)

### <規模>

約25ヘクタール

## 【イメージ図】



## 【ロードマップ】



## 【取組みの概要】

○県南地域への企業誘致を促進するため、企業の現地視察費の一部支援や既立地企業に対する人材確保支援を行うなど、企業誘致活動を強化。

(直近の県南地域での半導体関連企業の新規投資事例)

株式会社テクノワールド（半導体製造装置の組立）：令和7年度に人吉市に新工場を建設

## 【令和8年度取組み】

- 企業の現地視察費の一部支援と、企業と学校をつなぐ高校生の企業見学ツアーを実施。
- 市町村が主体的に関わり、企業が連携して行う企業PRや職場環境の改善等の人材確保を目的とした取組みへの支援及び高校生を対象に職業体験研修を実施。
- IT・コンテンツ系企業の誘致促進のため、市町村からの提案を踏まえ、展示会への出展やサテライトオフィスを活用した企業研修の誘致を実施。

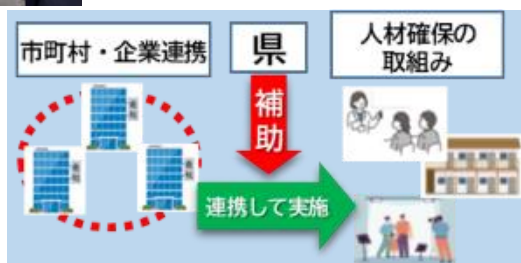
### <事業名・予算>

- ・県南地域企業誘致促進事業（一部交付金） 25,600千円



工場見学ツアー

人材確保への取組み支援



## 【ロードマップ】

R8年度	R9年度	R10年度
・視察費の一部支援、高校生の企業見学ツアー		
・既立地企業の人材確保への取組み支援、職業体験研修実施		
・展示会への出展、企業研修の誘致		

## 【取組みの概要】

- 球磨地域振興局に地域おこし協力隊（県会計年度任用職員）を配置し、人吉・球磨地域の広域的な課題である「人材確保」及び「観光振興」に取り組む。
- 協力隊員が地域に定着し、将来的に地域おこしの核となるよう支援・育成する。

## 【令和8年度取組み】

### 〈協力隊〉

- 移住相談会の開催や、地域資源を活用したツアーの造成等、人材確保・観光振興を広域的に推進する。  
〈球磨地域振興局〉
- 協力隊と地域とのつなぎ役となり、地域との関係性構築を支援するとともに、勉強会の開催等により専門知識の習得を支援。

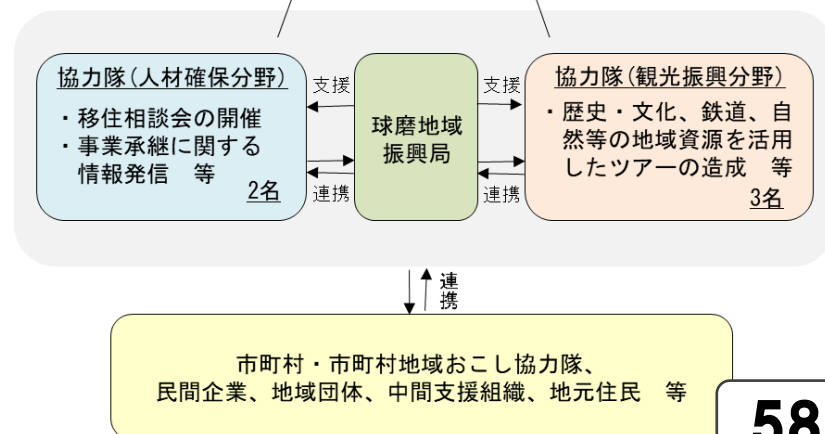
### 〈事業名・予算〉

- ・人吉・球磨地域未来創造人材づくり事業（単県）：27,574千円

## 【ロードマップ】

	R8年度	R9年度	R10年度～ (任期終了後)
協力隊	人材確保・観光振興の広域的な推進 ・移住相談会の開催 ・地域資源を活用したツアーの造成 等		地域への定住 (起業や地元企業への就職等)
	移住者から見た地域の魅力発信		
振興局	業務・生活面の支援、地域との交流支援		フォローアップ
	起業・就職支援		

## 【イメージ図】 移住者の目線で地域の魅力発信



◆若者が定着・還流する  
環境の創造



# 「若者が定着・還流する環境の創造」に向けた取組み

## 【取組みの概要】

- ① 県立高校の魅力化や教育活動における実践的な学びの充実、質の高い教育によるグローバル人材の育成などを推進し、**若者が魅力を感じる学びの場の創出**に取り組む。
- ② 半導体関連事業を中心とした本県の産業全体への生徒の理解促進や就職支援、産学連携の充実などにより、**学校と地域の産学官金が連携・一体となったキャリア教育**に取り組む。

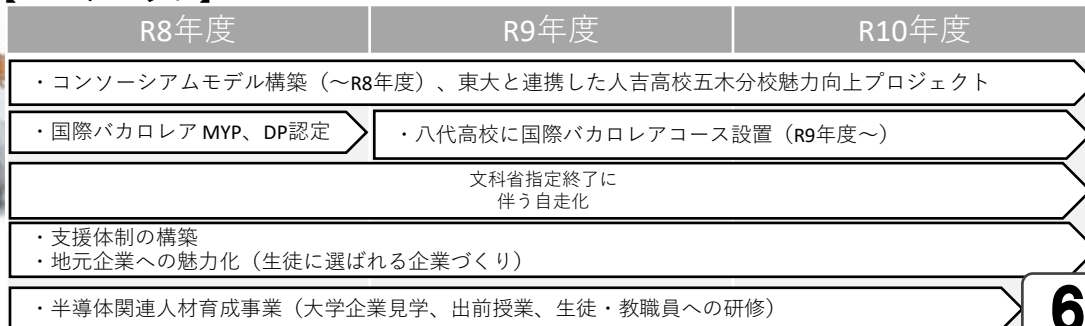
## 【令和8年度の取組み】

- ① 県立高校魅力化のための**地域との協働体制（コンソーシアム）の先導モデル構築**や、東京大学との連携による**人吉高校五木分校の魅力向上**、八代中学校・高校における**国際バカロレアの導入推進**に取り組む。  
 また、球磨中央高校において小国高校や鹿本高校と**ICT機器を活用した遠隔授業**を実施し、小国高校と**連携した地域課題解決に向けた探究的な学び**にも取り組む。
- ② 「くまもとキャリアサポーター」による**高校生に対する就職支援**や、「くまもと地域連携キャリアデザイン推進事業（熊本県版マイスター・ハイスクール支援事業）」及び「**県立高校半導体関連人材育成事業**」をとおして、**高校生が地域や地域を支える産業、職業を実践的・体験的に学ぶとともに、地域の魅力、熊本で働く良さについて知る機会を創出する**。  
 また、高校生による**大学や企業の見学、企業の技術者による高校への出前授業**、半導体関連教育施設等での**高校生への先端研修**を実施する。

<事業名・予算> ※県全域での予算（人吉高校五木分校魅力向上プロジェクト除く）

- ① ・地域と一緒に！キラリと光る県立高校魅力づくり事業：23,875千円  
 ・世界に羽ばたくグローバル人材育成事業：67,898千円、人吉高校五木分校魅力向上プロジェクト：6,989千円
- ② ・高校生キャリアサポート事業：97,467千円、くまもと地域連携キャリアデザイン推進事業：22,029千円  
 ・県立高校半導体関連人材育成事業：22,588千円

## 【ロードマップ】



東大先端研との連携による五木分校の探究学習



半導体の実習

## 【取組みの概要】

○若者の県内就職と定着、県内企業等の将来の中核を担う人材確保のため、県と制度に参加する県内企業等（参加企業）が2分の1ずつを負担し、県内に就職する若者の奨学金返還や赴任費用等の支援を実施。

○長期間にわたって手厚く奨学金返還を支援することで、若者の県内への定着に繋げる。

## 【令和8年度の取組み】

○県内企業の登録増加に向け、球磨川流域に所在する企業に対し本制度の周知を行い、登録の働きかけを行う。

○学生の登録者の増加に向け、引き続き県内大学や本県と就職支援協定を締結している首都圏・関西圏等の大学、九州各県の大学等に広く周知する。

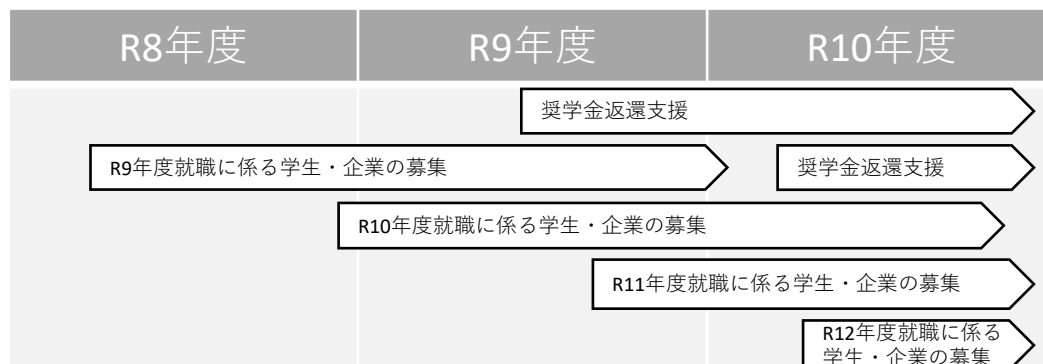
## <事業名・予算>

・ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート事業：61,696千円 ※県全域での予算

【イメージ図】



【ロードマップ】



## 【取組みの概要】

○県内の事業者が減少を続ける中、商工団体、市町村、熊本県事業承継・引継ぎ支援センター、金融機関等の関係団体などと連携し、中小・小規模事業者の創出(創業支援)・継承(事業承継)・成長(事業者の成長支援)を図ることで、地域の経済と雇いを維持・発展させるもの

## 【令和8年度の取組み】

○創業・事業承継等の周知・啓発による気運醸成や後継者の育成、事業承継希望者同士のマッチングによる円滑な事業承継等の取組みを支援

### ＜事業名・予算＞

- ・サステナブル地域経済創出支援事業 : 16,000千円 ※県全域での予算
- ・事業承継・後継ぎ支援事業 : 23,000千円 ※県全域での予算

## 【イメージ図】

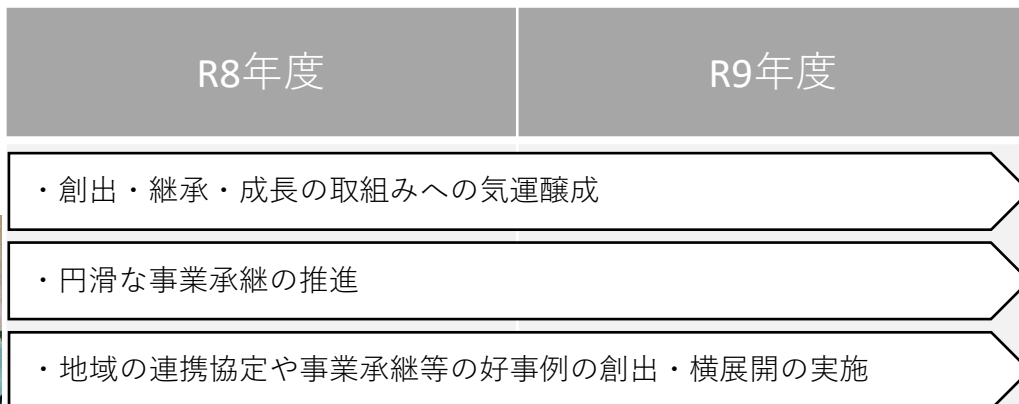
＜商工団体と市町村等の連携協定(人吉球磨)＞



＜芦北町での事業承継事例＞



## 【ロードマップ】



## 【取組みの概要】

- 「地域の人事部」構築事業や令和4年7月に球磨地域振興局に設置した「人吉・球磨地域復興支援人材確保ワンストップ就労相談窓口」を通じて、引き続き、人材の確保・育成及び若者の地元定着促進に取り組む。
- 県南地域の企業についても、ブライ企業を認定し、その魅力を発信するとともに、若者や女性等とブライ企業をはじめとした魅力ある県内企業との出会いの機会を創出する。

## 【令和8年度の取組み】

- 人吉球磨地域において、関係機関と連携し、人材確保及び地域内でのキャリアステップの体制等を構築する中間支援組織への補助を行う。
- 若者へのきめ細かな就労支援を行うほか、中学・高校等での出前講座を通じて、中高生やその保護者等に地元就職のメリットや地元企業の魅力を伝える。
- 県南地域の企業にブライ企業認定制度を周知し、認定申請を促す。
- 動画やガイドブックを制作し、若者や女性等にブライ企業をはじめとした県南地域の企業の魅力を知ってもらうとともに、県南地域の企業との出会いの機会として合同企業説明会等を開催する。

### <事業名・予算>

- ・「地域の人事部」構築事業（単県） : 9,000千円 ※球磨地域振興局において事業実施
- ・熊本県地域無料就労相談窓口設置運営事業 : 57,205千円 ※県全域での予算
- ・熊本県ブライ企業推進事業（単県） : 4,071千円 ※県全域での予算
- ・くまもと県内就労応援事業（単県） : 18,840千円 ※県全域での予算



出前講座の様子

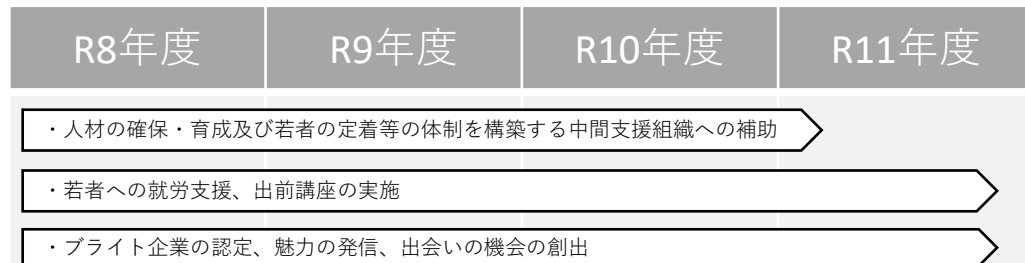


動画のポスター



ブライ企業認定式の様子

## 【ロードマップ】



## 【取組みの概要】

- 本県では、就職や進学を契機とした若年層の他県への転出が多いため、Uターン者や転入者の増加に向けた取組みが急務。
- 若年層に対して、将来的に熊本で暮らす又は住み続けるイメージを醸成するための動画コンテンツや、就職情報等の配信等を行う。

## 【令和8年度の取組み】

- 県内定住、Uターンを促進する情報発信及び動画コンテンツ制作
- 公式LINEによるユーザーの関心に応じた情報発信  
(就職、観光、移住等)

## ＜事業名・予算＞

・若年層への情報発信事業：14,452千円

※県全域での予算

## 【イメージ図】

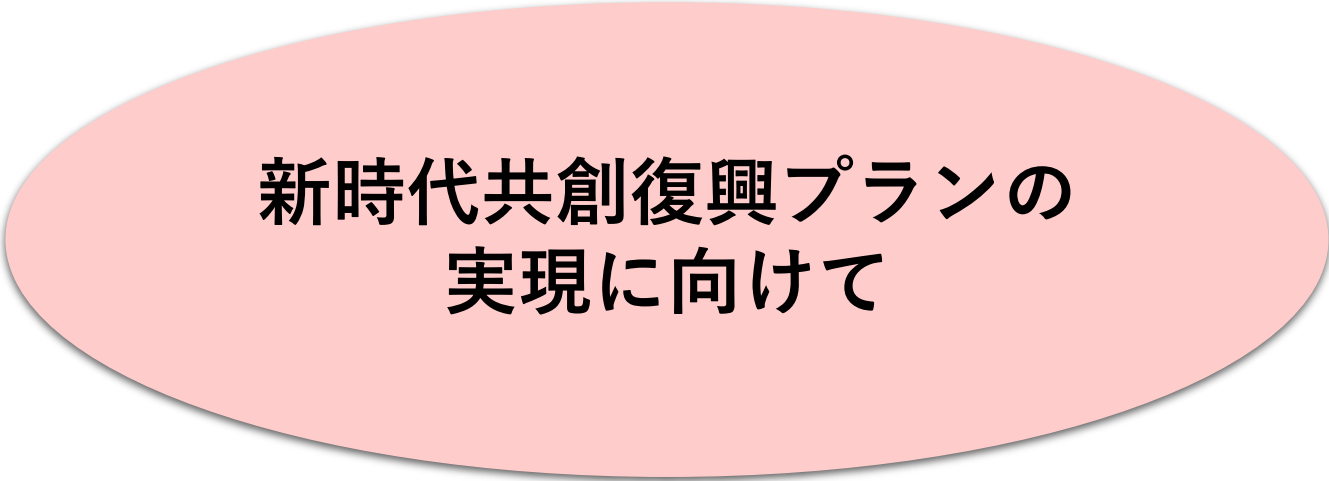


【告知用チラシ】

## 【ロードマップ】

R8年度	R9年度	R10年度
・各種情報発信（公式LINE、Instagram、TikTok）		
・若年層への事業周知		





**新時代共創復興プランの  
実現に向けて**



# 復興基金を活用した市町村支援

## 事業概要

### 球磨川流域復興基金（全39事業）

- ① 被災者の生活支援（7事業）
- ② 被災宅地の復旧支援（2事業）
- ③ 住まいの再建（6事業）
- ④ 公共施設、地域コミュニティ施設等の復旧支援（13事業）
- ⑤ 産業振興（4事業）
- ⑥ 防災・減災対策（2事業）
- ⑦ 復興まちづくり支援（5事業）

支援



【参考】 交付実績  
 R7: 379,151千円  
 R6: 610,162千円  
 R5: 273,406千円  
 R4: 577,373千円  
 R3: 526,683千円  
 R2: 186,577千円

流域市町村



被災者  
被災事業者

## R7年度実績（一例）※このほか、各基金事業に基づく幅広い支援を実施



復興まちづくり拠点施設整備等支援事業  
 (相良村 災害遺構川村駅)



豪雨災害の記憶・教訓伝承推進事業  
 (人吉市 令和2年7月豪雨犠牲者追悼式)

# 広域本部・地域振興局からの報告



**県南広域本部**



# 八代地域の復旧・復興に向けた取組み(県南広域本部①)

## 地域の賑わい・なりわいの創造

### 【取組みの概要】

○坂本地区への誘客による**交流人口の拡大**や**被災店舗の再興支援**を推進

<令和7年度事業実績>

- 令和8年2月に熊本市内で、八代市坂本地区の被災店舗を含む9事業者が出店した復興物産展を開催
- 併せて、復興が進む今の坂本地区等の姿を紹介したパネル展を実施



八代地域復興応援物産展の様子 (R8.2.21)



パネル展の様子

### 【R8年度の取組み】

- 八代の自然あふれる景観や、八代地域の特性を活かした食文化などをPRするため、**八代市坂本支所周辺でフードマルシェを開催**
- 復興が進む地域の現状や、国道219号※と坂本橋の復旧による交通アクセスの向上をPRし、市内外からの交流人口の拡大及び地域の賑わい創出につなげる

※一般通行可能範囲：国道219号（渡町～坂本橋）



フードマルシェのイメージ (R7.12.7開催 うまかもんフェスタの様子)

### <復興イベントの目的>

- 交通利便性向上PR**
- 交流人口拡大**
- 地域の魅力再発見**

## 道の駅坂本の再整備

### 【取組みの概要】

○**令和9年7月の再開**に向けて、国・県・市が連携して再整備を推進

### 【R8年度の取組み】

- 屋外トイレ工事を6月発注済み(営繕課)
- 駐車場及び照明工事を9月発注予定(県南広域本部)



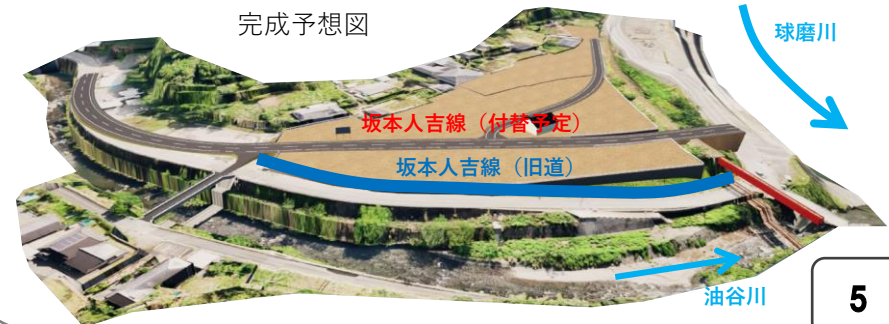
## 坂本地区かさ上げ事業の推進

### 【取組みの概要】

○宅地を含めた面的かさ上げ及び県道坂本人吉線のアンダーパスの解消

### 【R8年度の取組み】

○かさ上げ工事の推進、平面交差に関する関係機関との協議



完成予想図

# 八代地域の雇用創出・交流人口拡大に向けた取組み(県南広域本部②)

## 企業の人手不足の解消に向けた取組み

### [取組みの概要]

○若者人材の地元定着に向けた雇用の場の創出や移住定住の促進

<令和7年度事業実績>

○県南3局が連携し、人手不足に悩む地元企業と県南地域での就労希望者をマッチングする合同就職面談会を継続して開催

○併せて、UIJターンの関心が高い県内外在住の求職者を対象に、**企業見学・移住ツアーを初開催**

○UIJターン希望者企業見学ツアー及び合同就職面談会  
**参加事業者数43社／参加求職者数87名／採用決定者数12名(9社)**



企業見学・移住ツアーの様子 (R8.1.31)



就職フェアの様子 (R8.2.1)

### [R8年度の取組み]

○「若者・人材の地元定着に向けた取組み」をテーマに首長、民間パネリスト等による**八代地域未来創造会議シンポジウム**を開催

○令和7年度に設置した**やつしろ地域雇用共創会議**において、若者定着や雇用に係る現状・課題の共有、施策の連携等を継続して実施

○社会人向けの就職面談会やUIJターン促進、高校生向けおしごと紹介などのイベント等を通して、**若者世代へ地元企業の魅力を発信し、地域での就職・定着を促進**



シンポジウムの様子 (R8.4.28)



やつしろ地域雇用共創会議の様子 (R7.1.15)

## 復興に取り組む団体等への支援

### [取組みの概要]

○県補助金「くまもと未来づくりスタートアップ事業」を活用し、復興に向けた地域づくり団体等の取組みを支援

○取組みの広報等を通じて、各団体と連携し、復興への更なる機運醸成を図る

### [R8年度の主な取組み]

○事業実施者:肥薩線 again  
事業内容 : **JR肥薩線復旧後の持続可能な鉄道の実現に向けた人材育成講座の開催等**を実施



SLハチロクの絵本

○事業実施者:ボランティアグループあめつち  
事業内容 : **坂本町全盛期の昭和30～50年代頃町で撮影された写真を収集・アーカイブ化し、地域内外で展示等**を実施

## 新たな観光需要創出に向けた取組み

### [取組みの概要]

○**八代及び水俣・芦北地域を日常的に国内外からサイクリストが訪れる地域とするため、官民が連携し、ハード・ソフト両面の取組みを実施**

- ・ハード: 矢羽根型路面標示等の設置等
- ・ソフト: 八代と水俣を結ぶルートを自転車及びおれんじ鉄道(貸切)で往復するサイクルイベントを開催(R5～)し、R7年度は141名が参加。

### [R8年度の取組み]

○サイクルツーリズムの更なる推進に向け、**継続したサイクルイベントの開催**

○「サイクルステーション」及び「サイクリストにやさしい宿」の認定制度の推進



サイクルイベント「くまもと★みなみおれんじサイサイドライドの様子 (R8.2.28開催)

**芦北地域振興局**



# 地域の交流促進(芦北地域振興局①)

## 地域の交流促進／賑わいの創出

- 自然や食など、地域資源や文化等を通じた地域内外の交流を促進し、地域課題の解決等につなげる

- ◆ **さかなクンとの連携イベントの開催**

「みなまた・あしきたギョギョギョ大使」のさかなクンと連携した不知火海を活かした地域の活力再生と魅力発信を実施

- ◆ **芦北町ビジネスハッカソンの開催**

「ASHIKITA 共創 DAY 2026」を開催し、本格的なビジネスモデル作りを通して、町内外の参加者が交流

- ◆ **水俣・芦北地域未来創造ネットワーク**

地域で活躍する企業や人材の新たなネットワークを構築

- 美しい不知火海、山、温泉など豊かな自然を活かした観光振興を推進

- ◆ **鹿児島県北薩地域と連携したマルシェイベントを開催**

水俣駅～出水駅にて、「おれ鉄つながるマルシェ」の実施

- ◆ **サイクルツーリズムの推進**

県南広域本部と連携したサイクルイベント「くまもと★みなみおれんじシーサイドライド」開催

- ◆ **湯の児温泉開湯100周年関連イベントの開催**

管内3市町を温泉を巡るデジタルスタンプラリーを実施



さかなクン連携イベント



芦北町ビジネスハッカソン



水俣・芦北地域未来創造ネットワーク



おれ鉄つながるマルシェ



おれんじシーサイドライド



温泉スタンプラリー

# なりわい・産業の再生と創出(芦北地域振興局②)

## 地域産業の再生支援

- 環境に配慮した農林水産物等の商品開発や販路開拓、高付加価値化を支援

### ◆みなまた和紅茶のブランディング支援

みなまた和紅茶を活用したアフタヌーンティーイベントを芦北町で開催

### ◆地域産品の商品開発・販路開拓支援

地域産品を活用した商品開発や国内外の展示商談会等への出展を支援

- 水産資源回復、稼げる水産業の実現に向けた支援

### ◆マガキ養殖／カキ小屋運営支援

マガキ種苗の導入支援及びカキ小屋PR、備品等の整備を支援

### ◆あさり・アジアカエビの資源回復支援

あさり保護の被覆網の設置やアジアカエビの放流事業を実施



アフタヌーンティーイベント



日本物産展(漢神アリーナデパート)



カキ小屋カウンター整備



あさりの被覆網設置

## 地域産業の担い手確保

- 地域の基幹産業である農業の就農支援や地元高校生への就職支援、民間サービスを活用した多様な働き方を推進

### ◆新規就農(柑橘)希望者への支援

JA・市町・県等の連携により、柑橘の新規就農希望者に対し「相談→研修→優良園地提供→就農」まで切れ目なく支援

### ◆高校生向け地元企業見学会及び説明会(しごと発見塾)の開催

企業の魅力や仕事のやりがいを直接見聞きすることで、地元企業への就職促進や将来の地域を担う人材育成を推進

### ◆人材確保支援プラットフォームの構築

民間サービス(タイミー)を活用した短期人材確保支援や外国人材(特定技能)を活用した中期人材確保支援を実施



新規就農(柑橘)希望者への支援



しごと発見塾



タイミーとの連携協定

**球磨地域振興局**



# 人吉球磨地域の復旧・復興に向けた取組み（球磨地域振興局①）

球磨地域振興局の組織体制を強化し、地域の維持・発展に資する中間支援組織と一体となって、管内市町村はもとより、関係団体と連携を密に、**人材確保**（移住定住、産業・雇用の創出を含む）及び**広域観光の二つの取組みを両輪に、地域課題の解決**に向けて取り組む

## (1) 人材確保（移住定住、産業・雇用の創出も含む）

### ○地域経済の維持・発展に向けた事業承継の推進及び人材の確保等

- ・商工団体、市町村、中間支援組織等の連携による「**地域の人事部**」機能の構築
- ・「**ひとくま暮らしナビ**」を活用した、PR強化、**移住希望者と管内企業とのマッチング**（ひとくま暮らしナビURL：<https://hitokumanavi.com/>）
- ・高校生の職場体験やバスツアー等の開催、**管内企業と高校との連携強化**
- ・**事業承継・創業希望者の掘り起こし、事業承継のマッチング支援**
- ・人吉球磨地域おこし協力隊**交流会及び研修会**の開催

### ○若者が“残り・集う”産業・雇用の創出

- ・東京ゲームショウ出展、民泊等を活用した企業研修の受け入れ体制構築による**企業誘致活動の強化、機会を捉えた既存関係企業へのトップセールス等実施**
- ・**既立地企業**に対する市町村と連携した支援による**新たな増資、雇用の促進**
- ・くまもと未来づくりスタートアップ事業等による賑わい創出、魅力発信支援
- ・「ひごらボ」を活用したJICAとの連携による地域課題の解決への取組み（令和2年7月豪雨をきっかけとした、JICA協力隊員の派遣前国内実習での地域交流）

## 取組み効果

合同企業説明会等の実施で管内企業を知る機会増加  
⇒球磨工業高校でのR7年度県内就職者が過去最多

## その他管内の関連ニュース

- ・(株)テクノワールドが人吉市に工場新設⇒人吉球磨地域においても半導体関連の経済効果が波及
- ・県内のオフィス系企業の進出が減少する中、令和8年3月に(株)モノつく、同年5月にいちどろ(同)が、事業所の新設に向け、湯前町と立地協定を締結



【人吉球磨地域の半導体関連企業】

## 地域の人事部（地域の中堅・中核企業支援事業補助金（経済産業省））

人吉球磨地域の維持・発展に向け、**地域が一体となって人材の確保・育成・定着を支援する仕組みを構築**する

令和8年度は、以下の取組みを実施予定

- ・**地域企業の情報発信支援**  
正社員雇用に結びつけるため、取材により地域企業の魅力を引き出し、その内容を記事として情報発信
- ・**スポーツワーク機能「ひとくま仕事ナビ(仮称)」の構築**  
人手不足解消へ地域企業のスポーツワークと人材のマッチングの機能の構築
- ・**高校生向け実践型インターンシップの実施**  
将来的な地域内での就職を推進するため、高校生が地域企業で働くことの魅力に触れる機会を創出
- ・**地域企業向け採用力強化セミナー**等の開催  
地域企業の採用力の向上、チーム力の強化のため、研修・セミナー等を開催
- ・**UIターン者等との交流支援**  
地域おこし協力隊を含むUIターン者や若手社員同士の地域への定着を促すため、その交流機会を創出
- ・**「地域の人事部コミュニティ」造成**  
事業の進捗状況や関係機関の取組み等を共有・協議する連携推進体制構築

**本事業の実施により、地域内外の多様な人材と地域企業との関係性をしっかりと構築し、トライアンドエラーを繰り返しながら本地域にあった「地域の人事部」機能構築を目指す**

- ・UIターン促進として**東京での対面イベントへの出席**
- ・**オンラインセミナー**（移住定住相談会）
- ・**事業承継セミナー**（親族内・従業員・M&A）
- ・**地域おこし協力隊向けの創業セミナー**
- ・**空き家対策について市町村及び関係団体との連携強化**
- ・**既存の人材派遣関連企業との連携を模索**

# 人吉球磨地域の復旧・復興に向けた取組み（球磨地域振興局②）

## (2) 広域観光(拠点づくり)

人吉球磨観光地域づくり協議会、人吉温泉観光協会及び球磨地域振興局との連携強化【積極的な関与】  
局観光担当職員3名及び県地域おこし協力隊3名を同一執務室に配置するとともに、専務理事を次長が兼任

### ○人吉球磨地域の再生・発展に向けた広域観光の推進

- ・熊本DC・くま川鉄道全線再開を捉えた観光客の誘客・地域PRの強化
- ・阿蘇・芦北・球磨の3地域連携による**レール&フットパス実施**、**日本遺産の活用**
- ・**球磨川リバーミュージアム**の推進(観光コンテンツとしての磨き上げ等)
- ・新たな観光コンテンツの**企画立案**、**既存コンテンツの組み合わせ**による観光地としての魅力向上

### ○夏目友人帳を活用した観光誘客策の検討と実現

### ○「食のみやこ」「県南フードバレー」の実現のため**コンソーシアム**を通じた農林畜水産物の高付加価値化

新商品の開発、販路拡大等の取組み

### ○くま川鉄道沿線の観光資源の発掘・整理、周遊プランとモニターツアー等実施

### ○日本遺産への認定更新に向けた支援

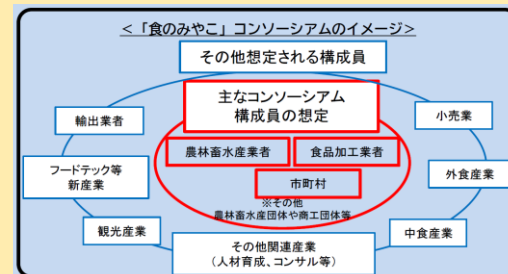
- ・関係団体等との連携及び組織体制の強化、日本遺産の情報発信の整理・強化
- ・日本遺産認定に係る**中間検査への対応**

## (3) その他、主な広域的な取組み

- ふるさと納税共通返礼品の開発等に向けた市町村による取組みを支援
- 市町村職員採用試験への**共同採用方式の導入**に係る具体的な協議の実施
- 魅力ある学校づくり**(地域における県立高校の在り方等)の推進
- 地域公共交通の維持・確保**に向けた取組みの支援(人吉・球磨地域公共交通計画の更新等)

### 「食のみやこ」コンソーシアム

- ・地域の生産者や食関連企業、観光業や行政等が一体となり「食のみやこ熊本県」の創造に向けた取組みを実施
- ・観地協が実施主体となり、地域の特産品等食資源の磨き上げを行う



### 魅力ある学校づくり

- ・球磨工業高校(伝統建築専攻科)と台湾の工業高校との国際文化交流、姉妹校の締結に向けた取組みを後押し



7月	8月	9月	10月～
サガラッパ祭でのくま鉄ブースPR	あさぎりマルシェでのPR	ステージイベント 人吉駅前広場	ステージイベント・マルシェ 湯前レールウィング
ひみつ基地ミュージアム他 企画展		やまえ栗まつりでのPRイベント	歓迎セレモニー —武駅
奥球磨焼酎列車ツアー、奥球磨レール&フットパス		音楽イベント ポップー館	トークイベント 相良十島駅
			グルメスタンプリー

**令和8年度上半期**  
**くま川鉄道全線再開に向けた**  
**観光客誘客・地域PRイベント**

(一部はスケジュール未定)  
(このほかにも企画進行中)

# 球磨川流域地域連携推進事業について



# 球磨川流域地域連携推進事業

- 球磨川流域の創造的復興の実現に向けては、川辺川の新たな流水型ダム事業に伴う経済効果を、流域全体に最大限波及させることが重要。
- そのため、流水型ダム事業に伴う効果を五木村及び相良村、さらには球磨川流域全体に、効果的かつ広域的に波及させるための国、県、市町村等流域のあらゆる関係者が連携し取組みを推進することで、**五木村及び相良村の振興**をはじめ、**持続可能な球磨川流域の形成実現を目指す**。

## 【令和8年度の取組み】ダム事業に伴う経済効果の最大化に向けた調査・検討

流域の関係者による既存の取組整理や優良事例（森林・環境保全、インフラツーリズムなど）の調査等を実施するとともに、ダム事業に伴う経済波及効果のデータ収集・分析を行い、流域が連携した仕組みを検討。

### 【調査対象の取組み（例）】

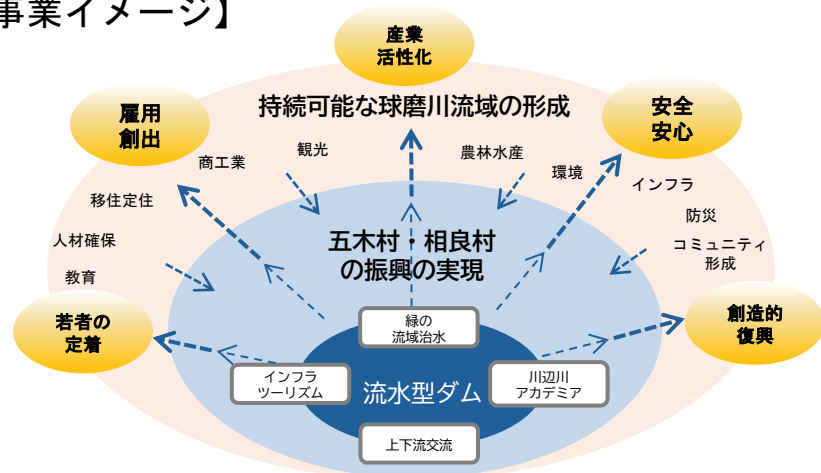
- ・令和2年7月豪雨からの新時代共創復興プラン
- ・球磨川リバーミュージアム構想
- ・JR 肥薩線復興アクションプラン
- ・球磨川流域治水プロジェクト
- ・人吉球磨観光復興戦略、流域市町村における復興計画や復興まちづくり計画 等

流域が連携することにより効果を期待できる取組みについて、実証を通じて調査・検討を実施。

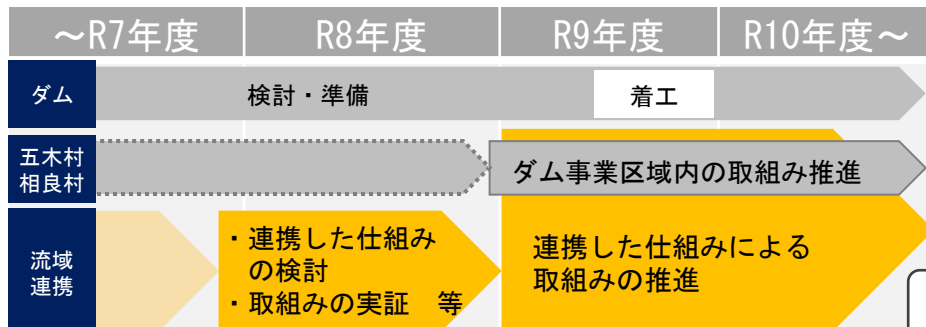
### 【想定される連携可能な取組み（例）】

- ・「緑の流域治水」の取組み（森林・環境保全、雨庭等）
- ・人材育成、環境・防災教育の取組み（緑の流域治水、川辺川アカデミア等）
- ・観光振興（インフラツーリズム、エコツーリズム等）
- ・上下流交流（川・森づくり交流、特産品販売会等）等

## 【事業イメージ】



## 【ロードマップ】



# 球磨川流域地域連携推進事業 (参考事例)

(公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の地域と連携した取組み (神奈川県相模原市、愛川町、清川村、厚木市)

- 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団は、宮ヶ瀬ダム周辺の地域活性化及び水源環境に対する理解促進を目的として、県・流域市町村をはじめ、民間企業、団体(計18団体)の出捐により、平成4年10月設立。
- 以下のとおり、観光振興、教育、地域交流など多面的な取組みを推進。

## 鉄道会社と連携した旅行商品の企画

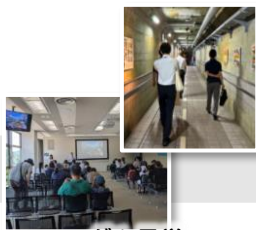
### ダム × 鉄道会社

- ・財団の評議員でもある小田急電鉄(株)が、宮ヶ瀬ダム管理所や地域事業者と連携し、ダム監査廊の特別見学を含むダム見学や、周辺の観光資源をパッケージ化してツアー商品として企画・販売を実施。

#### 行程イメージ



あいかわ公園(ダム上流)紅葉



ダム見学



昼食：ダムカレー



地元酒蔵の見学

R7.11バスツアー (21名参加)

## ダムを活用した地元産品の新たなブランド化

### ダム × 地元酒蔵・牧場

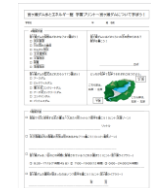
- ・年間通じて温度が一定のダム管理用トンネル内に、地元酒蔵の日本酒や近隣牧場のチーズ等を貯蔵・熟成。
- ・「ダム貯蔵」という過程を経ることで、自治体を越えた枠での商品展開や、知名度の向上が期待できる。



ダム貯蔵チーズ

## 地域と連携した取組み

- 地域事業者との連携
  - ⇒ 地元工務店による宮大工体験
  - 地元パン屋によるパン教室 等
- 学校との連携
  - ⇒ ダム社会科見学 (R7実績:県内301校)
  - 学習プリントの配布 等
- 大企業との連携
  - ⇒ 出捐者 (株)横浜銀行による小学生向け『おかねの教室』



学習プリント



『おかねって何?』